京城日報

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金五拾錢 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番一 長六千九番二

對露交涉經過

今後の發展注目に値す

對露通商問題に關しては衆議院本會議に於て質問書提出され九日の院議分科會に於ても對露通商開始交涉參加の問題に關し內田外相の答辯ありたる如く露國勞農政府代表者クラシン氏は一旦英國材料に引上けたるが對露通商交涉の經過に就き確聞するに氏の齎せる物件は聯合側の提出せる政治的條件及び經濟的條件に關し本國政府との打合せの爲なりし此事なり英國が通商再開の前提として政治條件を提出し近東問題等を通商再開と交換的に妥協に依り解決せんとするの意なる事は明かなるが之れに關し露國も對露交涉參加の招待を受け其後帝國は倫敦に於ける對露通商會議に珍田大使を參加せしむるに決し英佛伊日の四國にて通商條件に關し審議したり然れ共佛國は之れに反對したる故撤備會議としては一回もクラシン氏とは會合せず唯英國首相ロイドジョージ氏がクラッシン氏の歸國前に會見して政治條件に關する會議をなしたるのみなりしが一方聯合國經濟會議委員のクラッシン氏との會商は先月中旬一回開かれたるは當時外電の如く[illegible]經濟會議に委[illegible]を出さゞりしも今回丈け珍田大使參加してク氏と會見せり經濟會議委員はク氏に對し

一、勞貿組合は如何なる權限を有するや

二、聯合國と商議す可き勞貿組合代表者の權限如何

三、通商開始の爲め聯合國の商船が露國港灣に入る場合其取扱如何

四、通商開始の上其取引關係は何れの法律に準據するや

等の質問提出されたる趣なるが是等の點に關してもクラッシン氏は本國政府と協議するの要ありたるならんク氏歸露後の消息は皆無なるが露國勞農政府が此後如何に通商問題を處置するやは注目に値す又對露交涉に關する聯合國の態度は[illegible]佛國は前述の如く此際斷固として對露交涉開始に反對し居れるが他の聯合國は露國との通商開始を希望し英國の如きは近東問題の危險を除去するは一に露國と妥協するの外なく承認問題に導く前提たる通商問題に熱心にして又伊太利に於ては新首相ジオリッチ氏は露國と親善關係の恢復を希望する旨議會にて聲明し又外相スフオルツア氏はレニン政府を事實上の政府と認む可しとの意見を發表せるは既に伊太利に到着せり又[illegible]趣にしてレニン政府商議委員[illegible]に依れば米國々務省は勞農露國との通商制限を撤廢せる旨發表せり之あり米國は從來對露封鎖に參加せざりしも通商に制限を附し武器鐵道材料の輸出は聯合國間の申合せに依り禁止し其他の貨物は特許を得たるものに限り個人の危險に於て許可されたるものなるが今回武器鐵道材料以外の貨物に關する右制限を撤廢したる次第にして是は米國が未だ政府としてレニン政府を承認するものにあらざるも通商開始には賛成なる旨を表示せるものと觀測さるゝ所にして英伊の對露通商熱に促され米國も此の擧に出でたるものにしてクラッシン氏の歸國は英國に於ける保守系の觀察する如く對露通商交涉の頓挫打切りにあらずして却って通商再開の準備として今後の發展注目すべく通商再始は當然政治的にレニン政府の承認問題に落着すべしと云ふ

將屋の籠

活動寫眞を見て

限汀生

余は昨晩、或る親しきものと神田川にて晩餐を倶にし、それから例のルシタニア號の活動寫眞を觀るべく招かれたる喜樂館に赴いた。[illegible]ゆふに初めて往ッてみた。京城に於ける活動寫眞界の實況を知りたいと思ッたからである。先づ最初に感じたのは、京城にもせめて東京の有樂座ぐらゐの小綺麗な娯樂所が欲しいといふことであッた。出し物の新派悲劇「愛の渦」といふのには大分中てられた。其の終るのを待つのに餘程の忍耐を要した。然し、あれ位が丁度一般俗衆の低い趣味に適するのであらうと思ッた。ルシタニア號の說明は、其の辭句に於て、殆ど聞くに堪へなかッたが、[illegible]ところは間違ひだらけで、小說的に脚色したところは先づ無難であッた。此の映畫は、米國の宣傳に用ひられたもので、獨逸に對する敵愾心を起さしめるやうに出來て居る。一九一五年五月四日、即ち同號撃沈の三日餘り前に、獨逸大使館は、海軍々令部長の名を以て、北海以外にも、英國海峽を含む大ブリテン及び愛蘭の海域を戰時禁制區域とし、同月十八日以後そこへ出入りする船舶ならば、中立國のものでも撃沈するぞと宣言して居る。米國は之に對して、同月十日附を以て、若し獨逸にして、中立國の船舶を、故なくして撃沈し、中立國民の生命財産に危害を與ふるが如きことあらば、米國政府は直に獨逸政府に其の責任を問ふと同時に、適當なる行動に出で、其の權利を擁護すること警告を與へたるも、ルシタニア號には實際加奈陀の軍隊及び武器五千四百箱が搭載して米國を發し、愛蘭沖なる獨逸封鎖區域内に入ッたのである。是に依ッて獨逸政府は、英國商船會社が、其の搭載武器を保護せんが爲めの目的を以て、米國市民の生命を利用したるものだと云ふ罪を英國に歸して居るし、米國務長官ブライアン氏も、ルシタニア號の慘害の如き、之を喚起した獨逸潜航艇の不法行爲を咎むるよりは、寧ろ自ら危險を冒して搭乘した乘客の罪を責むべしと說いて居る。彼は曰く、「米國市民は、其の船が危險帶に入るを知りながら、何の必要があッて、交戰國の船舶に乘ッて旅行するや」と。論理一貫、他の思惑如何を顧みざる所に、氏の理想家たる面目が活躍する。若しこれが日本で、もあッたならば、彼は直ちに國賊と呼ばれ、賣國奴と罵られて、社會より斥けらるゝであらうに、そこに米國と日本との間に國民の識見の差が、ホノ見えるのである。偶々活動寫眞を見て、斯る感慨に逃ぶる所、是れ余の持質にて御判讀を乞ふ。讀者は、之を先刻御承知の事と察する。（七月十四日稿）

人生の大學校

人生の大學校に於ては、四ツの講座あり四名の教授者之を擔任す。一人の教授は其の名を貧と云ひ、次のものは病と云ひ、又次のものは悲と云ふ。此の大學のものは罪と云ふ。此の大學を卒へんとすべき吾人は、また必ず此の教授の中、何れか一人の嚴格なる試驗を受けざるべからざるなり。

人生は困難なる業務なり

人生は一個の職務なり。それは戯を有すれば樂と云へる業務にして、時としては殆ど絶命なる場合あり、死する者も、全體より見れば、困難なる業務にして、艱難なる學校を卒業して、此業務を終了せしもの、學位を得たる人と謂ふべし。

姉の意見

『私は丈の高い、立派な、樣子の好い人の所へ嫁ッて、みんなに羨ましがらせてやるわ』と學校通ひの妹が言ふを、年も經て多い姉が打ち消して、『それが大間違ひですよ。樣子の立派でない方が、爭をするに、骨が折れないで、一緒に居られる樂みがずッと多い。』

御挨拶

紙上讀者の領分に於て節木生に非凡なる兩君より、余に賜はりたる辭を賜はりたるは余の慚愧たらざるも、[illegible]頌敬して取つ謝する所である。流石に人生の悲哀を猶は青年の如く、今日に生存したるは、聊か心に信ずる所があるからである。余は死を提げ、若し今晩が余の最後なりと知るも、余は神に感謝するである。されど御余に亜ふるに余の存在を以てせば、余は最後の微力の有らん限りを盡したいと思ッて居る。一言附する所は述べて謝辭に代へる。

盃裡蛇影

[illegible]の機に生徒を勸めぬからこそ[illegible]妹に末文言ふ處の如きは[illegible]も亦馬鹿しい』と評するほかない、色眼鏡をかけてばかり居ないやうにして貰ひたい

▲正誤 前回『活動寫眞』の二段目歐洲大戰前は大戰中の誤植

物は正視せよ

歪んだ鏡に向へば佳人も惡婦に見わる、ヒガ眼で物を觀れば他のことは皆氣に入らぬ。京城日報の一文中に次の一節がある。普通學校は正しく自己引導の下に在る學生をして、求むる丈け文化運動に參與すべき機會を多からしむることを欲取の利害を享受せしむべき態度は取らずして反對に妨害をなすのである。然るに斯る態度は『危險思想の傳播なり』と云ふ[illegible]の第一目的は同化に在り。同化は即ち[illegible]日本人を作るにあり故に日本語を強制したり。教科内容は日本の傳說を以て補塡し道徳基礎を一種固定の國民思想として強制するのであるが[illegible]見れば自由を絶叫し人生は[illegible]に危險と云ふを得べし盗賊の立場より見る警察官の侵入は生存の脅威なり不義の立場より見れば正義の[illegible]は[illegible]

危險なり其數は異なるも普通學校の目的は正に其質は[illegible]同じことなる豈危險と判斷させざるべけんや日本人は眞に聰明と云ふべし人生暢達に在り知識擴張に在り自由の絶叫と平等の高唱が如何にして危險なりや。人生を削り自由を掲して一民族は他民族に同化するコトを強制するものは豈罪惡ならずや吾人はそれに對し宣言と斯如學校の主義目的は實に文化を破壞し斯如學校の組織存在は民族發達を阻害する一大魔害の魔物である。普通學校の校長が彼の學生諸君なるものに對して何んな態度を取つたかは我輩の知る所ではない。然しながら校長が果して如何なる生徒に請願を聽くに及ばぬと告げたことしても、決して不當ではない。それは所謂危險思想に關係があっても無くてもである、元來今回の學生諸君は自分が勉強中の身であるから[illegible]

神仙爐

劍花坊の轉宅

劍花坊

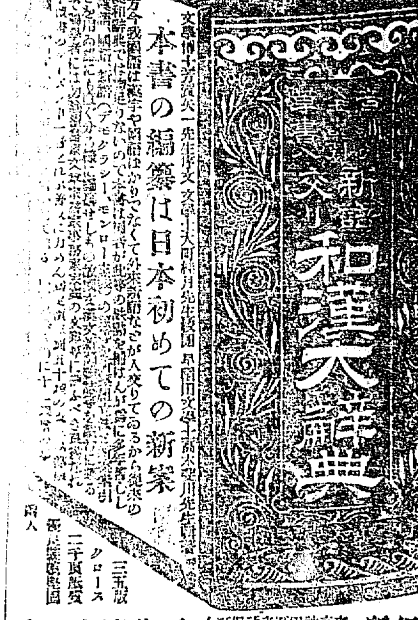
劍花坊はこの六月二十八日に、これまで馴れてゐた[illegible]を立ちのき、今度は下町の東京芝區[illegible]三番地といふところへ引越した。[illegible]

八月號
新人捜索大懸賞付 疑問の短刀（第四回） 板、菖村
長篇小說 金剛石 渡邊霞亭
歴史小說 女歌舞伎 福田六禮
仇討奇談 金比羅船 武田[illegible]
新講長篇 梅ごよみ（第五回） 安中宗三郎
實話 仙人掌の鉢 田中空宙
小話 船長の死 久松古涙
美談 城中の祝言 水上蕗花
怪話 伊豆山哀調 松崎天民
竹ちゃんと美ちゃん
乃木[illegible]
代議士[illegible]
定價二十錢
ポケット
博文館 振替東京二四〇

八月號
講談雜誌
奥州怪說 桐十郎の船思案 白井喬二
義士討入 吉良方の面々 桃川如燕
探偵奇談 白墨を食ふ男 田中空宙
大久保三政談 三百両の無心 [illegible]
久八の[illegible]
怪談[illegible]
（下町乳[illegible]）淺草[illegible]判記
早稲田大學生生活
ハバロフスク風俗
寶塚少女歌劇とパトロン
（落語） 亡者の宙乘 小勝
（落語） お初とお七 小[illegible]
（小唄） 戀ごろも 鳥一
淺草スケッチ
地獄から來た手紙 木村[illegible]
エエホアスの漂泊 中野[illegible]
カフエ プランタンの巻 御舟之助
定價三十錢

驚印
ITSUJI TRADE MARK OSAKA

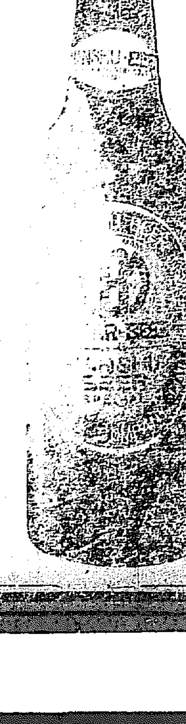
新刊 好評如湧
新式和漢大辭典
本書の編纂は日本初めての新案
三五版 クロース 二千頁箱入
發行所 玉井清文堂



特許 藤崎式 せわいらず風呂釜

○ハーモニカ ○大小琴 ○洋琴 ○ピアノ ○オルガン ○ヴァイオリン ○蓄音器 ○[illegible]
[illegible]本店樂器部

滿洲ビール
製造 [illegible]
賀易商 仁泰洋行 出張所
京城蓬萊町一丁目百十八番地
長電話一一六八八番
長電話一九六六番
長電話二六三八番



少女世界
[illegible]の娘 博士の娘
暑い日 月待草 旧舎の娘
屋外生活 猫ワンく
あはれな人形 [illegible]休み
水遊の後
博文館 東京市本石町

少年世界
遊戲 ハレゴ競走（遊び方説明付）
珍探偵 家はドコニ
空中の砦 中里
不思議な機械
黒い鳥 露雄
定價三十錢

涼しい美しい面白い八月號が出來ました！
少年少女譚海
小四郎の死（讀切） 結城
モーゼの話（讀切） つとむ
大人國物語（長篇） 鳴秋
ナポレオン（讀切） 花風
纐纈城譚（續物） 小舟
猿神退治 紫涙
上ったり下りたり 鶯濱
大楠公 鯉亭
ブルース王 浩造
綾經物語 小波
海の兄弟 春宵
定價三十錢

獨石炭供給商議
聯合國地域占領威嚇

聯合委員會は石炭を毎月聯合國に引渡す件に就き協定を遂ぐる能はざるより聯合國は更に獨逸の一地域を占領すべしと威嚇し獨逸は今や之れに就て商議中なり英國首相ロイドジョージ氏は獨逸外務大臣シモンス氏に告ぐるに聯合國は少くとも毎月二百萬噸を受くる權利ありとの事を以てし而佛國首相ミルラン氏は英國首相と共にスパー會議の終了前石炭引渡し問題に關して協定を遂ぐべしとの手段方法を決定したりと報ぜらる(倫敦電報)

墺國新內閣成立

其の筋着電＝墺地利のレンネル內閣は其の與黨たる社會民主黨と基督教社會黨兩派の間に政見の相違を來し反對黨は政府が兵卒會の[illegible]たることを認めたる結果を外議したる爲め六月十一日辭表を提出し後繼內閣組織中なりし所三日附各派聯立內閣成立したり尤も現在開會の議會(客年二月十二日成立)は各代表者中解散を主張せる者多き爲め新選擧行はるゝの外なかるべしとの如く右黨と左黨との背馳益々甚だしきを以て新內閣は到底永續の見込なきものと觀測せられつゝあり尚新內閣の主なる閣員左の如し(東京電報)

總理兼憲法改修局長マエルシ▲外務レンネル▲陸軍ドイチエー▲海軍はブライスク▲大藏ライヒ▲食糧[illegible]給レーランエール　トラフン

日英同盟延期批評

日英兩國は既報の如く日英同盟の期限を一ヶ年延期せる旨を正式に通牒せるが右に付倫敦デーリーメール紙は日英同盟條約の[illegible]期限を延期する理由は他なし若し條約が國際聯盟の主義に合致せるを指摘して曰く聯盟條約の[illegible]なる條文の改訂を加ふべきかに就て未だ其自治植民地と協議するの機會なかりしが爲なり獨逸が極東に其勢力を喪失せる今日條約に何等かの改正を加ふるは或は必要ならんかと(倫敦電報)

東洋人排斥否決

リスボンの第一回大會は加州代表の提出に係る東洋人排斥決議を否決したり尚右大會は政府の過激派撲滅運動に援助を與へんことを決議したり(バーミンゲカム電報)

第三黨成立可決

四十八州議員全國大會は全員一致にて第三黨成立案を可決せり尚勞働黨及海軍兵卒團體等八團體も加入せりと(市俄古電報)

波蘭危急存亡
悲痛の色國內に漲る

其の筋來電＝波蘭軍は對過激派戰爭の形勢不利なるに鑑み新募集兵の訓練中なるも僅に損害を補充し得るに止り新兵團を編成するを得ず國防會議は兵卒及び國民に形勢の重大なるを告げ全力を盡して祖國の擁護に努むべきことを要求し國民中兵として使用に耐ゆる者は擧つて義勇兵に應ずべく布告せるが大學教授學生會社員等の應募者日日增加しつゝあり國內の過激派分子の陰謀は影を潛め國民一般形勢の重大なるを解し悲痛の色漲り居れりと(東京電報)

露波休戰勸告
拒絕せば波軍を援助せん

スパー十一日發電に曰く聯合國は莫斯科政府に公文を送り波蘭が最後の同國々境內に引揚ぐるを條件として波蘭と休戰を締結すべしとの旨を勞農政府に勸告する所あり若し勞農政府にして右提議を拒絕せば聯合國は波蘭軍に援助を與ふべし(倫敦電報)

支那新聞の誣妄
日本は却つて援助を與ふ

支那新聞紙中には尼港附近に於ける我軍艦が支那砲艦を抑留し且つ支那人の交通を阻碍し居れるが如く掲載し居れるものあり右は全然事實に反し我軍にては毫も支那砲艦を抑留し又は支那人の通行を阻碍したることなきのみならず却つて日本側は支那側に對して諸般の便宜を與へ救助し居れり在尼港花岡外務書記官の報告に依れば同地に於ては支那軍艦及び領事館に對して食糧補給に盡力し尚支那商人に對しては電報取引の便宜を與へ支那救助艦の航行に對しては數度便宜を與へ居れりと(東京電報)

日本軍器供給協議

日本軍當局者はニコリスクの民軍に軍器供給の件につき浦鹽政府と協議中なり(浦鹽電報)

防禦同盟成立
安福派及徐樹錚討伐命令勸告

北京政變に關し自衛防禦の意味にて陝西、廣西、湖西、湖南、湖北、江蘇の六省間に防禦同盟成立せり又江蘇督軍李純氏は北京政府に對し安福派及徐樹錚一派の討伐命令を下すべしと勸告せるより結局政府は安福派の彈劾をなすべしと(上海電報)

張氏向背果して如何
段派奉天軍の出動阻止腐心

安徽直隸兩派の確執は協調の望み絕へたるが張作霖氏の向背は未決の間に大關係あり張作霖氏は曖昧の態度を持し居れるも今日迄の所彼は結局曹錕派に加擔するものと認めざるべからず然して問題たる張作霖氏にして右の態度に出づるに於ては奉天軍は短時日の間に天津方面に出動すべく北京方面の戰鬪に直接重大なる影響を及ぼすべく段派に於ては張作霖氏の向背如何を頗る懸念し居れるもの、如く何とかして混亂の區域を餘り擴大せざる間に大勢を定めんとするに苦心し奉天軍の關門出動を阻止せんと腐心し居れる由元來張作霖氏は機を見るに頗る敏なれば目下直隸の勢にある今日[illegible]が如きことは之なかるべしと推察せらるゝも今日迄の行掛及び彼が北京出發前所謂兩派に出動準備を命じたること並に北京の奉天直司令官との[illegible]等を綜合する時は其の心の在る所を想像するに難からずと某消息通は語れり(東京電報)

飽迄武力調停

張作霖氏は最近某氏に語りて曰く何處迄も武力調停をなすべく從つて茲二三日中には雌雄を見るべく言明し元氣頗る旺盛なりと(奉天特電)

安福時局調停策

安福派は時局調停策として左の案を立てたり(北京電報)
(一)靳雲鵬を總理に推すこと(二)靳雲鵬に內閣を組織せしむること(三)曹錕を十四省巡閱使となすこと(四)徐樹錚、段芝貴には別に地位を與ふること(五)新國會を維持すること

停戰命令無効果

停戰命令發布されたるも何等効果なしと(北京電報)

兩軍交戰中

安徽直隸兩軍は十四日固安縣方面にて永定河を挾みて交戰中なり(北京電報)

吳佩孚軍敗走

十五日午前九時より邊防軍第一師團長曲同豐氏(安徽派)の軍隊と第三師團長吳佩孚氏(直隸派)の軍隊は涿州に於て開戰せるが吳佩孚軍は敗走し目下安徽軍は追擊中なり(北京電報)

馬賊遂に就縛
我官憲の手に依り

去る十一日我警官隊の活動に依り風を喰つて逃走したる馬賊三名は十三日夜長春驛前支那旅館西受樓にて我官憲の爲め逮捕されたり其の報に接し奉天警務署高部警部は直ちに長春に急行十五日朝彼等を受取て歸奉領事館警察にて取調べをなし直ちに支那官憲に引渡せるが都合十三名の多數を逮捕せり其內朱楨九(三五)は馬賊の副首を努めたる者なり劉仲範(二四)程仲元(三五)は一團の巨魁にして現金二萬元其の他四十萬元を所持し居れり(奉天特電)

目的は張氏暗殺か

別項奉春にて逮捕せる馬賊の一團は長面馬賊と稱する高士賓[illegible]

排日交涉開始！
後の決定に付き交涉すべしと傳へらる(哈爾賓電報)

[illegible]新內閣成立

佛大統領選擧說

新紙幣ボイコット中止

既報の如く徐樹錚は專ら日停戰命令を發したるが要旨は支那の平和統一未だ成らず水災飢饉の災ある際再び兵亂を招くべからず[illegible]

第四十三次帝國議會
所得稅改正問題
藏相例の調子にて說明す
十四日の貴族院本會議(承前)

午後一時三十分開議
目賀田種太郎男　今回の所得稅案其他を追加豫算の財源となすに當り憲法第五十八條[illegible]會計法第五條とは其の內容[illegible]兩者共に大差ありとて藏相に質問し高橋藏相との間に數次質問應答を繰返し遂に德川議長の取做にて[illegible]次で上院の名物男

矢口長右衛門氏　登壇本案は根本に頗る疑惑あり政府は果して本案に就て十分に研究したるか[illegible](議場笑聲起る)矢口氏漸く氣が付きたるもの、如く[illegible]

高橋藏相　本案に就ては[illegible]

[illegible]りやと質す

高橋藏相　政府は本案に就て今後とも絕對に修正せずと斷言せず[illegible]

淺田德則氏　より[illegible]質問を打切り[illegible]八名の委員に附託して散會す

諸法律案附議
朝鮮關係問題上程
十五日の衆議院本會議

十五日の衆議院本會議は午後一時五分開會
一、明治十年法律第十三號中改正法律案　中橋文相の說明あり帝國大學特別會計法外三案と同じく委員附託
一、貨幣法中改正法律案　神野大藏次官の說明あり九名の委員附託
一、賠償金特別會計法
一、明治三十八年法律第十七號中改正法律案
一、關稅法中改正法律案
一、明治四十三年勅令第三百卅一號[illegible]に關する法律案
一、關稅定率法保稅倉庫法等の朝鮮に於ける特例に關する法律案
一、內地又は樺太より朝鮮に移入する物品の中關稅免除に關する法律案
一、朝鮮又は臺灣より移出したる物品の內地又は樺太に於ける取扱に關する法律案
以上五案一括議題に供し神野大藏次官の說明あり關稅定率案委員と同一委員附託
一、臨時海上再保險の廢止に關する法律案　田中農商務次官の說明あり九名の委員附託
一、獸疫豫防法に關する法律に依る下付する手當金に關する法律案
一、大正九年勅令第五十二號[illegible]　山本農相の說明あり委員附託
一、大正九年度歲入出總豫算追加案　田中次官の說明あり九名の委員附託
一、大正九年度各特別會計歲入出豫算追加案
一、臨時軍事費特別會計[illegible]
一、國庫外國庫の負擔となるべき契約をなすを要する件
以上豫算案なるを以て一括して議題に供し豫算委員長吉植庄一郎氏の報告あり散會せり(東京電報)

朝鮮國勢調查
第二回調查より施行

下院に於ける朝鮮國勢調查施行に關する委員會は十五日午前十一時開會賀田神谷兩氏より朝鮮の國勢調查は今回施行せざる事には敢て異議なきも將來何時より施行する見込なりやと問ひ大塚政府委員は第二回調查よりは施行したき希望ありとの答へその質問を打切り採決に移り原案可決散會せり(東京電報)

改正法律案
不日議會に提出

[illegible]鐵道[illegible]會社法中改正法律案及[illegible]府の管理補助に關する規定[illegible]は十四日を以て一兩日に議會に提出さるゝに決す(東京電報)

問題調查會

[illegible]朝鮮倶樂部の公正、茶話、新成の三派は十五日午前十時より[illegible](東京電報)

朝鮮開發策
新代議士の朝鮮觀(十三)
衆議院議員　加藤久米四郎氏談

[illegible]

國境觀念の[illegible]

[illegible]

現在の朝鮮

[illegible]

施設の必要

[illegible]

奉天防穀

[illegible]

臨時議會見物
東京支局　傍聽子

議長不信任

▲不信任案上程當日の院外の民衆運動は八千の警官のものものしい警戒の中に押へ付けられて了つた院內はお手のもの、二百八十の絕對多數の權威に口を利かせて蹴り散らし、其の餘波に乘じて十二日の議場も一瀉千里首尾よく普選案を葬り去らうとした政府黨の策戰も、[illegible]佐々木[illegible]にかゝつては、是非なくも餘興の一幕を演ぜさせられるのは妙なものだ。

▲午後一時、開會劈頭佐々木君、「議長ッ」と叫んで立つ。議場はこゝぞと傍聽席大悅びだ。「緊急動議でありますッ」議長「何の緊急動議ですか」佐々木「議長不信任の緊急動議であります」サア愈々始まつた▲佐々木君登壇して、お隣の林田書記官長を[illegible]にしたらしい議長の議事規則及び先例違犯の條々を並べ上げて「議長の一身上のことについての動議であるのに議長は席を退かぬか」と大見得を切る、議長先例によりて退席、新谷副議長代つて議長席、若々しい聲で議場の整理振り見事に、岩崎勳氏の動議によりて佐々木君の緊急動議は多數を以て不成立に決定、こんな事をして騷いでる中に一時間經つて了つた。野黨の作戰がもし今日の議事を日が全く暮れるまで攪亂させるつもりであつたのなら、佐々木君の緊急動議も[illegible]のためには多少役に立つたかも知れぬ。

▲その佐々木君の緊急動議が不成立に決する前、反對意見を述るために壇上に立つたのは、[illegible]の井上孝哉君だ、早速野黨から『官選議員ッ』の大彌次が[illegible]はれたが、井上君初陣に似ず、却々負けて居らず、[illegible]を振りかざして政府席を睨みつけ、喧々擾々の中を叱咤[illegible]したところは、人は見かけに寄らぬもの此人にして此の膽あるかと思はせた。御苦勞々々

▲下岡忠次君、植原悅二郎君の普選演說、例によつて例の如く、此の大問題があまり大問題らしく取扱はれず、議場は極めて寂寞を缺いでるたのは[illegible]

金融界夏枯れ

[illegible]

京管局へ陳情
穀商有志より

[illegible]

實銀初日成績

[illegible]

師團長隨時檢閱

[illegible]

勳章傳達式

[illegible]

辭令　十五日附左の辭令あり

[illegible]

滿派遣隊查閱

[illegible]

野砲二期檢閱

[illegible]

局長會議終了

[illegible]

平沼學長視察

[illegible]

慰問巡回講演

[illegible]

南鐵本社移轉

[illegible]

國際親和會發會式

[illegible]

重要電報(欄外にあり)

寸臺

[illegible]

人事

[illegible]

……界の狀況に依つて……云ふ事が計畫を遂行したと思ひましても……大なる計畫が出來なければ出來ぬ事もあるが又經濟界の狀況に依つて大なる計畫を進めて往く必要がない事もあ……けれどもやらなければならぬと云ふ事情になつて來たものは經濟界の事情に依り擴張を要しない事ならば金があつてもやらない即ち金が有る……矢張り成る可く擴げる積りで居ますから……第四でございますか大正九年度……何うかと云ふ事は勿論經濟狀態……

定國軍涿州占領

保定軍不利

十四日夜著電報に曰く安直兩軍の小衝突起り京漢鐵道方面に於て保定軍は利を失ひ二十支里退却し涿州は定國軍に占領せられたり固安方面にては保定軍十五支里前進せり（奉天電報）

徐氏討伐通電

曹錕、張作霖、李純、王占元、陳光遠、張懷芝、趙倜、蔡成勳、馬福祥氏等は連名にて徐樹錚討伐の電報を寄せ來れり（北京電報）

奉天軍士氣振ふ

奉天軍の二十七師は鄭坊より豐臺に二十八師は秦皇島山海關に二十九師の一部は伊通に他の一部は熱河に又其の騎兵は蒙古を通過して北京の東北に集合すべく而して張作霖氏自ら陣頭に立つべしと稱せる爲め士氣大いに振ひ居れりと（奉天電報）

奉天軍進軍計畫

奉天軍は瀋陽より通州に進軍すべき計畫あり（奉天特電）

張氏直隷派に走らん

張作霖氏は近來段派を離れ直隷派に走らんとする態度顯著なるものあり特に注目を要すべしと（奉天特電）

土匪煽動と辯明

十二日付張作霖氏より段祺瑞氏に宛て段軍或は其左右の者東三省の土匪煽動の爲め密使を發せる故予は大軍を率ゐて之が亂[illegible]んとすと激烈なる電報來り段氏は辯明の返電をなし靳雲鵬氏に奉天行を命ぜり（奉天通信北京電報）

海蘭鐵道借款

海蘭鐵道の短期借款は白耳義側一億五千萬フラン和蘭側五千萬グルダを引受け權利八分手取九一返還期限十ケ年にて五ケ年据置なりと（北京電報）

殖産局長訓示（四）

林業主任に對し

▲官行造林地の監督　造林の目的を以て國有林野の貸付を許可せるものは大正八年度末現在に於ては件數三萬八千餘件面積五拾萬六千餘町歩に達するも此等貸付地にして悉く豫定の造林事業を遂行しつゝありや否や殊に既往の效果の大なる造林の成績を見るに大正八年度末迄に事業完成の認可を受けたる件數は僅に二百件六千百餘町歩に過ぎず造林の如き年所を要すべきは已むを得ざるべしと雖も從來貸付後の經過年限の長きに拘らず未だ殆と見るべき成績の擧らざるもの少からず……（一）借地權を獲得するものあるべしと雖（二）植栽の方法を誤り成績不良に終りたるもの（三）慣習に依り柴草採取のみを事とするもの（四）地元民と融和を缺くるもの等最も多きが如し各位は常に其の造林の狀況に注意し成績不良の原因を索求し一層適宜の指導監督を加へ以て所期の效果を完ふすることに努められたし

▲林野調査　林野の權利關係を確定することは林政の改善上最も必要なることなれども總督府設置當初に在りては財政の關係上林野の全般に亘りて調査することは能はざりし爲私有林及緣故林の調査は之を將來に讓り明治四十四年より純然たる國有林野のみに付所謂區分調査を開始し要存置と不要存置とを決定し要存林野に付ては國に於て經營の途を講じ爲め之豆滿兩江上流約二百二十萬町歩は營林廠に於て管理し其の他の要存林野に付ては當分の間財政の許す限り山林課出張所を設け其の設置なきものに付ては道知事をして管理の任に當らしめ不要存林野は之を民間の有志者に貸付して造林を促進することゝ爲し既に其の貸付面積五十萬六千餘町歩の多きに達せり然るに私有林野及緣故者ある國有林野の權利關係は豫想外に曖昧混沌として之を確定するに非ざれば造林の奬勵容易に其の目的を達する能はざること判明したるに依り大正七年制令第五號を以て朝鮮林野調査令を發布し所謂整理調査を開始し土地調査令に依り調査を爲し所有權及境界を確定することゝ爲せり朝鮮林野調査は今や本事業は最初の豫定の如く……地元民の重大なる事務を……

▲森林保護　森林の保護は間接の造林にして其の行けることゝ完からむか勞費を要すること少なくして效果顯著なるものあり之に反し森林の保護不完全ならむか如何に植樹造林に……

何故の洪水か（二）

齋藤音作

今回の水害は前古未曾有と稱せられ龍山、永登浦、麻浦、東漢江一帶の沿岸地は一面の泥海と化し罹災者の慘狀目も當てられず阿鼻叫喚の聲甚しくも聽くに堪へざる次第である、借て此の水災は如何なる原因で起つたものであるか前續せる大雨は原因の一であつたに相違ない、然し各地測候所の報告によれば決して稀有の大雲雨ではなかつたと云ふ……漢江の水源地方に在りても平均一日の降水量は[illegible]に過ぎざるもの、如く[illegible]の降雨として決して稀有のものではない、從に思はれる彼の洪水の時の如きは一日の降水量は[illegible]を超ゆる大降水あり彼の岐阜縣下上町[illegible]水災の如きも一日間に七百何十耗と云ふ降水があつた様に記憶する、此の大洪水に比すれば今回の雨の如きは數にも足らぬ少量なものであるのに何故斯くも大慘害を招くに至つたのであらうか吾人は此の際寧に於て愼んで其の聲を聽き一面目前の救濟に周到を期すると共に他面に於て其の原因を深く攻究して所謂百年の大計を樹立し著々其の步武を進むる事の肝要なるは言ふまでもあるまいが、要するに今回の洪水に對しては只目前の救助に沒頭して足れりとすることなく之と同時に何故の洪水かと云ふ點に付官民共に其の根源に遡りて深く考慮を盡くし以て具體的根治の對策を決定することが大切であると考へる

奉天より（三）

老　兎　生

▲少將又曰く『彼等の西伯利撤兵を宣傳したるは彼の緩衝地帶設置を恐れたる爲にして今や在東部西伯利には反過激派漸く勢力を失墜し……是は帝國の對西伯利策が彼等の手に乘ぜられて腰が極まらない結果……緩衝地帶問題は暫く見合せとなりたりと雖も從來よりの行き掛り上日本は西伯利問題は何とか方法を付けざるべからず是が爲には過激派と交觸せざるを得ず此の過激派の擧を見るや彼等は又々日本と勢力の對西歐に伸びんを恐れて反對に日本の西伯利駐兵を宣傳する事の奇現象を見るに至れり』との事にて候

▲剛變幕敵無主義無方針を耻かし氣もなくサラケ出す帝國の政治家も決して稱揚すべきには有らずと存じ候、吾人最近內地を踏みて其地に於て多少人中にて口の利ける人と云ふ某と會見し尼港問題を話題とするに及び奉天に於ける餘聲に問はれたるにはしと質問されたるには返答に窮したる事有之候、是ではテンデお話になり申さず候、所謂政治家も是と五十步百步にて對露對西伯利對支政策の確立をなさんとすれば是等各方面に對する調査研究を緻密に眞面目になさゞるべからずと存じ候、不幸にも帝國政治家にして此の調査研究に何程の精力を用ひ居れる思よて茲に至れば只慨嘆の外之無く候不一

財界閑話

▲高瀨梅吉君が鮮銀の理事候補になつてゐるらしい▲木村理事の東上中なる事や木村君と高瀨君の交情より見るに恐らく事實であらう▲高瀨君は木村君と同期の出身で學校の成績は良かつたのであり▲上同文書課長より鮮銀に招聘したのも木村君の盡力であり▲鮮銀から東拓理事に出たのも木村君と當時の支那長官鈴木君の骨折だつた▲高瀨君の東拓退社は非難を招いた同社の滿洲金融方針に異にしたからである▲さう云へば高瀨君は放逸な人物のやうにとれるが事實は[illegible]で確かな頭腦を持つた人物……きのないカッチリした男である▲又復木村君の手引きで鮮銀に入るとすれば同君のために此の人材の喚び戻しを祝してよからう▲市中の某銀行家は三島君を失つた鮮銀は高瀨君を入るゝ事によつて得失なしと云つてゐた▲人物は三島君に及ぶまい然し仕事をする意見に富んでゐる事は兩者多くの優劣を見ぬであらう▲商銀の東大門支店長に鮮人を任用した同行としては最初の試みである▲適任者の起用なら新例を開くのも大に良い

▲遞の官僚にして漸次日本に及ばんか腰元の軟弱グラ〳〵の日本政治家は無定見無方針にも直に其手に乘りて擧を返すが如く撤兵駐兵を主唱するに至るべくと存じ候、斯くの如く彼等が帝國の强大と正義とを恐れつゝある所以のものは單に帝國の勢力が歐洲に延び彼等の立國の基礎を覗はんを恐れてにあらずは勿論なりと存じ候、只帝國の十月に等しく正義公道を進んで何物をも恐れざる正々堂々而も交はるに謙讓の態度を失はざる彼等の心中の不純自ら安からざるもの存すればなりと存じ候▲然れども手も無く彼等の宣傳に乘ぜられて[illegible]を二三にし……

たる獎勵すると勞費多くして林相の改善は之を期待すること能はず國有林の保護に付ては明治四十五年五月府令を以て國有林山野保護規則を定め地方長官をして保護の事務を掌らしむると共に特に保護を要する箇所に付ては保護區又は山林監視所を設け大正八年度末現在に於ては其の數六十三箇其の面積約百萬町步に達し將來引續き豫算の許す限り之を增設せむことを期すれ共之が設置の了するには尙相當の年所を要すべし各位は既に是等機關の設置せられたる所に在りては之を激勵し未だ其の設置を見ざる所にありては大正元年訓令第二十二號及第二三號の趣旨に體し事務官監督の周密なる連絡を計り保護取締上遺憾なきを期せられたし

演藝案内

黃金館（黃金町　電話一六三七）國活派武者小路實篤作特約代理店特選三大名畫公開▲新派大悲劇　**女の望**　全五卷　國活會社撰篩傑作新香一座にて新作せし定評ある女の宿命に泣き雪子の身の上を渦巻き寄せる大不幸涙から袖に小雨のかわく日も無き大悲劇に五郎、正十郎合同劇▲舊劇　**安中草三**　全五卷　父の病氣をなおさく名藥入手に草三孝子の徳を得て罪を免され孝の徳さへ亦後の仇討ち名刀も手に僕の末代まで殘る安中草三郎武勇傳▲第五　**マチステ**　全長八卷　光榮さする名優京戲に現る長九尺餘世界的大男が刑事探偵となりて如く人を蹴ぎ鷄の如く人を殺し……如く人の屍を積むと云ふ前代未聞の大活劇

大正館（櫻井町　電話八七三）本日活動寫眞會社代理店一同十五日晝夜開館……舊喜劇『アフリカバリ族風俗』長尺、喜劇『意外、功名』長尺、新案版告法『長尺』米國……タゴン會社大傑作『世界の手物王』と稱せらるゝハウデ二氏出演▲連續探偵大活劇　**人間タンク**　十五篇三十一卷の中第一回五卷公開ハンガリーの地下鐵路をすらすらと易々と通過しハウデ二氏は全力を拔かうと……奇の絶妙な技に……の魂を奪す

小松島（全六卷）日活向島山本一派新派悲劇　村井弦齋氏作『人世界相』▲筑前琵琶『ニ生命』……美しい想ひ人……行つてから八年、八年振りにて、小夜子に……切り落されない……へ行つて永却かへらぬ人となつた▲毎月一日十五日日曜祭日晝夜開館

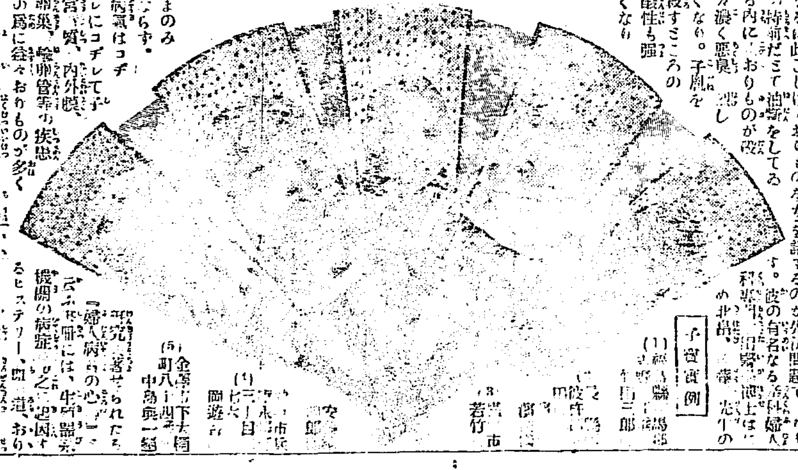
喜樂館（本町一丁目　電話九七七）**アンブロースの幸福**　全二卷　米國テーウス九十一號ニコ〳〵劇　**ナムバーワン**　全五篇　活劇　連續探偵　……マウンテ映畫……有名なるアンナカサリングリーン……

小栗判官　全八卷　日活京都派撮影……

壽館（本町一丁目　電話七八五）三河自慢女の男女合同大歌舞伎一座▲前狂言　**大鬼一法眼三略の卷**　一條大藏卿▲切狂言　**三吉別**　女房染分手綱重の井子別れ……

◎時計へ兼ねた
ちりめん兵兒帶

財界の變動以來倉庫にぎつしり詰めの一品……



婦人病の原因

女の一番
おそろしい子宮病
かあいらしい子寶

婦人病の原因はいろ〳〵ありますが、何よりも多いのは淋毒の感染により子宮系の疾患であります。此場合最初は少々なりとも何か人に云ふのが恥かしい爲めに、醫師に診て貰ふ事もせず、我慢の出來るだけ押し通すと、病毒は少しも散らないのですから發熱したり、下り物が多くなつたりして、それがドバ〳〵出るやうになります。これが子宮内膜炎となつて、卵巢の悪い下り物で汚れます。これから起る症状は、子宮の疾患、ヒステリー等々いろ〳〵となるのであります。

……子宮病が恐ろしいものであることは御承知の事と存じますが、それに依つて子供が出來ないのは勿論……

出世の大悲觀
實践方法の要點

子寶實例（1）……郎（2）……（3）……若竹市……（4）……（5）金澤市下本多町八十四番地 中島與一郎

本書は婦人衛生普及の目的を以て一般に頒布したいのですから本代も送料も頂きません

自宅療法
代價二圓……

地方ハ品目寸法御申越被下候ハバ郵送ニテ御送附可仕候

アルパカ上衣	二〇・〇〇
絽子セルズボン	一八・〇〇
ポンジー上下	一四・〇〇
ダツクリンネル上下	一四・〇〇
シユランク上下	一七・〇〇
ポプリン上下	一三・〇〇
紋リンネル詰チヨキ	六・〇

其他數十種多數品來廉價提供

丁子屋夏服大賣出

京城南大門通

埃及兩切卷煙草
オアシス

新着の
卷煙草
風味佳良!!
體裁優美!!
先づ一本
試喫あれ

京城本町三丁目三〇（電話長七一七番）
株式會社 伊藤商行
京城出張所

高きへ！
更に高きへ！
精力の增進！

森永ミルクキヤラメル
タバコ代用
ニセモノ御注意
森永製菓株式會社
特約販賣　全國到る處にあり

京阪合併大相撲と本紙讀者の特權

木戸場代共通券買求の方へ サッポロビール一本宛贈呈

東京大阪合併相撲京城興行中、本社は京城日報讀者の爲めに木戸、場代共通券

◇上棧敷 割込み木戸とも 一圓五十錢

◇土間 場代及木戸とも 二圓

左記各商店又は本社にて發賣す右共通券一枚に付

サッポロビール一本づつを贈呈す

◇五枚 以上は本社へ御通知次第御届申上ぐべし

◇切符通用期限 京城興行中何日にても有効なり

◇ビール は入場券御買求の各商店から御受取を願ふ但し本社及び鮮文堂、町田文林堂はビール引換券を贈呈すべきを以て木戸口にて受取られたし

◇注意 本共通券御持参の方は割込棧敷土間とも凡て先着順を以て取り決むるものなれば早朝より御來場を乞ふ

共通券販賣店

南大門通三 青木堂 / 南大門通三 藤木商店 / 南大門通一 大塚出張所 / 本町一 佐藤牧商店 / 本町二 龜屋商店 / 本町二 藤田商店 / 本町二 前田酒店 / 南米倉町 辻本商店 / 龍山漢江通 佐藤牧用達部 / 長谷川町 河野出張所 / 本町二 町田文林堂 / 本町三 桑原商店 / 本町二 桑原支店

本町三 森川商店 / 本町三 下川商店 / 本町三 藤富商店 / 本町三 宮崎商店 / 本町三 酒井商店 / 明治町二 大山商店 / 御成町 帶金商店 / 南米倉町 池田商店 / 旭町一 川村商店 / 太平町 盛文堂 / 櫻井町 川西商店 / 永樂町 村島商店

女學生が夏休みの間に 蠅の驅除を研究

實生活の體驗が何より貴いと高木校長語る

暑中休暇の季節となつて各學校の生徒が近く一齊に炎天のもとに開放されることゝなつた、南山町公立高等女學校に高木校長を訪ふと氏は同校生徒が暑中休暇中の作業と課題に就て語る處では

「前例に依つて休暇中多くの課題をしない事にして居ります、中學校と異なつて女學校の生徒には家庭に於ける作業があり成る可くそれ等に對する實際の經驗を得させると云ふ事も必要なので休暇中迄學校で拘束したく無いと考へて居ります今年は府が

公衆衞生に對し最善の努力を盡してゐる如にも見受けますので學校の方では此の邊に意を用ひて休暇中蠅の驅除に就て各自の研究と其爲に得た經驗を課題として休暇後聽取し萬一相當の實を擧げてゐたとすれば其の結果を一纏めにして展覽會でも開催して見たいと思つてゐる位です京城と云ふ處は

海水浴をするにも完全な場所を得る事が出來ず女子の體育に適當な方法を講ずるに不便なのは非常に遺憾として居りますそこで自然總てが消極的になるの止むを得ない事となり暑中休暇中は女子としての家庭生活に對する觀念を與へるに止まつて居ります」

流筏盛ん 材木屋喜ぶ

十三日來の豪雨にて鴨綠江上流谷所共四尺乃至六尺の增水したる爲筏の流下容易となり途中に停滯中なりしもの續々到着しつゝあり之れより流筏愈々順調に向ふべしと材木業者は初めて愁眉を開きたり(安東縣特電)

元山行の納涼列車

京城管理局では例年の通り八月中三回運轉八月中日曜日を主とする元山行納涼列車を運轉する事となりたるが釋王寺探勝客の便宜を圖る爲め往路列車を釋王寺山門前に停車し同地下車客は午前十時四十五分元山着定期列車に連絡すべし定員は二等四十名三等二百十名とし南大門龍山兩驛にて五割引往復乘車券を發賣する由、運轉日割及び發着時刻左の如し

(第一回)
七月卅一日 南大門發午後十時五十分 著午前七時十五分
八月一日 元山發午後十時四十分
二日 南大門著午前六時四十分

(第二回)
八月七日 南大門發午後十時五十分 著午前七時十五分
八日 元山發午後十時〇分
九日 南大門著午前六時〇分

(第三回)
八月十四日 十五日 十六日 時刻第一回に同じ

朝鮮佛教の特色

併合後僧侶を優遇してから急に發展して來た 椎尾文學博士語る

今回滿鐵の招聘に依つて今月初旬渡鮮し普く滿鮮各地に於いて講演を試みつゝある東京巣鴨宗教大學教授兼帝國大學文科大學講師朝鮮各宗寺院聯合會理事長文學博士椎尾辨匡師は十三日滿洲地方の講演を終りたるを以て元山よりの懇請に應じ十四日午前七時十八分龍山驛發元山行列車に乘込みたるが發車前博士は記者に語る

「一昨年渡鮮した時と今回とは亦大變趣きを異にして居るので從つて感想も今此所に充分語る時間を持たぬのを遺憾とする今回の渡鮮に際しては總督に是非面會せねばならぬ要件も帶びて來たのである從來朝鮮佛教は佛禪の教が行はれては居るが少しく宗派に特色がある然るに併合以來朝鮮僧侶の地位が優遇され從來より朝鮮の佛教は發展を遂げ成はけて居るが未だ他に幾多の佛教としてなすべきことがあらふと思ふのである」

石鹸と葡萄酒の良否鑑別法

石鹸の良い悪いは舌の先で一寸なめて見分けます舌の先で刺戟するのは悪い石鹸でアルカリが多く肌を荒します、その粉末をアルコールに溶して見た時透明であれば透明である程純良な證據です、又未熟な中に採收して製した葡萄酒は美しい色がよく出ないためアニリン色素で色をつけたのがよくあります、これを鑑別するには筆の穗を初め葡萄酒で煮て次に再び稀鹽酸の中で煮る、そして若し葡萄色に染まつたならアニリン色素を用ひてある證據です

大相撲漫畫 アイスクリームを一呑め

關取衆は無邪氣で面白いが、至つて行儀が悪い。仕度部屋でゴロ〳〵寢轉びながら『暑い〳〵』と愚痴して居ると、都外に當つて『アイスクリーム』な呼聲して居るものがある。『オーイ、アイスクリーム』さ板の隙から外を覗いて註文する。ところが註文したアイスクリームのコップを受取る事が出來ないので遂に板を一枚ベリ〳〵と引剝つてそこから受渡しを濟ませ、ペロリと一呑めに平げて『オヤ、板が剝げてるぞ』といゝ乍ら[illegible]の中に扳り込んで濟し込んで居る。

講演學生入城 (學友)

京城學友會主催の夏期巡回講演の爲め東京より歸鮮したる留學生團體十數名は十六日朝南大門驛著奏樂の裡に多數の出迎へを受け賑々しく入城したるが十八日は鐘路靑年會館、十九日は京城公會堂に於て講演會を開催すべしと

天一坊控訴

去る十[illegible]日本辯法院支廳に於て懲役一年六月に處せられたる詐欺事件被告僞法學士松原常雄(二七)は原判決を不服とし十二日控訴したれば近々の中に護送さるべし

地方色

▲府廳が貸間の周旋 元山府廳では今回海水浴場に特別の設備を施したが同時に家族携帶の避暑客を吸收する計畫で貸間を周旋する事になつた

▲之も國富の一端 大正七年十二月咸山榮町に於て支那人某が現金二百五十圓を拾得し早速警察に屆けて置いた、處が今年の一月其の保管期間は終了したが落し主が分らぬので止むを得ず夫々屆出人に下渡さうとすると夫も居ない依つて件の二百五十圓は遂に國庫に編入された

▲機關車に血塊 十三日木浦から松汀里に到着した機關車に生々しい血塊が附着して居た驛員が驚いて線路傳ひに調べて見ると羅州驛を去る五丁許りの地點で住所不明の一鮮人が無慘の轢死を遂げて居た

▲赤い信女が孕む 成歡郡成歡面罷良里の寡婦李興奇(四三)は同村の百姓羅貫連(三九)と關係し此程分娩したが其恥を恥ぢて嬰兒を殺し情夫に依頼して廃畑に葬つて居たが[illegible]其筋に拘引された

交通整理

本月一日より十日に至る本町署の交通整理成績左の如し

通行違反者に對する告發三一件▲說諭八三三件▲注意九七〇四件▲車輛制限取締違反に對する告發一七件▲說諭一三〇五件▲注意一二七五件

店員表彰式

京城時計商工組合にては七月十八日午前十時より京城商業會議所に於て店員の表彰式を擧行する由なるが順序左の如し

▲開會▲賞狀授與式(鈴木組合長)▲祝詞(京畿府尹、釘本會頭)▲茶菓の饗應

○石川分娩より割狀 [illegible]

○朝鮮ホテル給仕[illegible]

子供が水を欲がつたら 構はず與へよ

下痢の代りに中毒せぬ 水道の水は害が尠ない

一體都會の人は水を飲むことを恐れる傾向がありますが之は飲んだ方が宜しいのであります、只流行病のある時には往々病毒が水中にある危險が伴なうことあり特に昨今のやうな『コレラ』の流行時には生水は危險であるが、能く水質を選び時を考へて善き水を病人や虛弱者に與へる

ことは

至極善い事

で特に小兒等には必要であります、水道の汲立ての水には危險はありませんが井戸水、川水は今日は危險です都會の人は百姓のことを水呑み百姓等と言ひますが水を呑むのは百姓許りでない總て生物は水なしでは生きて居られない非常に大切なものでありますが然るに都會の人は一般に水を用ふることを恐る、樣になつた理由は何であるかと云ふに例へば子供などが或晩に限つて矢鱈に水を飲むことがある、『水を飲むと腹を下すから飲んではいかない』と叱る、併し之は

水を飲んだ

から腹を下したのではなくして子供が矢鱈に水を飲む時は既に腹加答兒を起しかけて居て、夫に中毒しない中に早く下痢を必要とする爲に、自然の要求から知らず〳〵に水を飲むのであります、其れを子供の親達は水を飲んだから腹を下したのであると考へて居ますが實は腹を下す必要から水を飲むのであります若し水を飲まなかつたなれば其子供は

遂に腸内の

醱酵菌に中毒して熱を出したり、心臟を弱めたりして居つたかも知れませぬ、其時醫師が來て下劑を投じて之を救ふのでありますが之を間違へて一般世人は水を罪として居るのであります

緩衝機 (投書歡迎)

水害防止策

龍山 稲田頼次郎

漢江の氾濫は毎年のことで其度毎に巨萬の損害を被むり甚だしきは人命を損傷するに至るは實に歎ずべしで[illegible]

廣告

釜關連絡船 出帆 釜山發 朝六、三〇 夕八、三〇

十七日 朝、無 夕、德壽丸
十八日 朝、無 夕、新羅丸
十九日 朝、壹岐丸 夕、高麗丸

合併相撲 勝負 (三日目)

太刀錦 倒し 虎林 / 若港 押し 梅 / 陸奥山 押し出し 沖の石 / 阿久津 押し切り 大島 / 若鳳 吊り出し 平錦 [illegible]

連絡船上陸客

辻信太郎、井上增右衞門、渡瀨常一等(四名)牧野甫、同文江、蒔野義、松岡佐衞門、佐藤謙吉、同き省三、長谷川末吉、一等(三四名)野本之吉、松山芳三郎、井上慶太、君田桂五郎、内田竹次郎、工藤[illegible]外八三、三等(二三四二名)

晴 後曇

時代の要求に應じ一大革新せる松之助劇

英傑 小栗判官

當る十七日より公開 豪氣放膽…… 雷名四海に轟く

照手姫の小萩が責苦の鬼に責められ艱難辛苦の慘狀誰か血涙に咽ばざらん

全八卷

奇怪なる連續大活劇全十五編三十卷

ナムバーワン

パラマウント映畫有名なるアンナカザリングリーン式劇

本週に限り廿一日まで六日限り

日活直營 喜樂館

ポケット實業

北支那號 七月號 一部廿錢 半年一圓十四錢 一年二圓十八錢

本誌主幹以下北滿支那地方を歷遊すること一ケ月其の調査になれる北支那事情其他當面の經濟評論[illegible]

發行所 東京市外西巢鴨[illegible]四七三 ポケット實業社

謹告

天は雨を惠み地は新綠の生氣に漲り大方愈々御清榮之段大慶至極奉存候陳者弊店開店來た日淺きに不拘各位より多大の御信任を辱ふし御蔭を以て六月中賣買出來高六十五萬餘石の巨額に達せるは偏に篤き御同情に依る所にして弊店の光榮之に不過謹而奉鳴謝候此上は御愛顧に酬ゆるため飽く迄華客本位の下に有ゆる最善を獻げ斷じて御期待に背き不申候に付何卒彌上にも御愛顧を賜り度奉懇願候

大阪堂島米穀取引所仲買人 大阪堂島濱通二丁目 ◇野田商店 電話北(二)三〇三、二五八一、二五九二番

取引銀行 加島銀行本店 攝陽銀行堂島支店

書籍文房具 商品券

京城本町 大阪屋號書店 電話六八四番 振替一五七二番

同店 釜山 東京 大連 旅順 鐵嶺 鞍山

朝鮮 滿洲 [illegible]

どこでも通用=便利第一 高尙第一=經濟第一

東洋一ノ東京自働車學校ガ京城ト釜山ニ分校ヲ設ク

自働車運轉手養成

我校ハ自働車運轉手養成ヲ目的トシ一ケ月卒業ノ晝夜教授ト二ケ月卒業ノ金額教授トヲ設ケ何レモ同一ノ教育ヲ爲シテ自働車ノ運轉ト實地ニ教授ス學科トシテ何レモ自働車運轉練習ノ費用ハ一ケ月卒業ト二ケ月卒業ト同額ニシテ何レモ入學期日ヲ限ラズ[illegible]

入學期日 每月一日及十六日 京城黃金町 東京自働車學校 京城講習所

入學期日 每月一日 釜山榮町 東京自働車學校 釜山分校

講話會議特命御用品たる

世界的高級謄寫版

十數年來の貴き犧牲を拂ひ幾多の缺點を改良し今回全く完全無缺の器として斯界に毅然頭角を現せる

謄寫版界の覇王 國際式謄寫版

□專賣特許 第二〇三八一號
□實用新案 第三五〇〇五號
□實用新案 第九九〇四五號
□特許願 第九八九一八號
□同 第九八九一九號
□同 第九八九三〇號
□同 第九九五八六號

說明書定價表贈呈

鮮滿特約發賣元 京城府 合資會社 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

安住かとり線香

直線形及渦卷形 直線形ハ景品附

最少の煙で最大の効果を得よ それは安住香に限ります

猪印のみどり粉本舖 大阪市北區[illegible]町 株式會社 安住大藥房

豫防 惡疫

コレラ流行! 下痢 腹痛 の時はスグ

腸胃全治 一道丸 大人用 小兒用

殺菌吐瀉に偉効ある本劑を用ひ速に根治し以て腸胃の健全を計られよ

本舖 大阪天滿橋 樋屋合資會社 到る所の藥店にあり

大相撲初日の好取組 能代潟と太刀光

嵐 押し 磐城嶽 太刀光 切り 大蛇山 三杉磯 押し 瀬戸山 鞍ケ嶽 上手投げ 能代潟 宮城山 上手投げ 藤の川

[illegible]

急所を挟られて 續行公判のお流れ

豫審決定書に手落ちがあると 辯護士から異議を申立つ

結局十七日から引續き開廷

孫秉熙一味の公判は十六日午前九時より貞洞鐵道部内特別法廷に於て開廷せられた開廷前既に傍聽席は滿員にて連日の公判に疲れたものか被告中欠伸する者多く五分毎に網傘を冠つての便所通ひに看守の手を煩す者を續出す

許辯護士の 不意討

檢事は問題でないと空嘯く

定刻被告等組立の裡に立川裁判長以下係官着席、被告の點呼終つて將に事實の審問に移らんとする時

許辯護士 裁判長の許可を得て起立し高等法院の豫審決定書中には主文に『京城地方法院を本件の管轄裁判所と指定す』とあるのみにて高等法院より本件を『地方法院に送致す』との明文なきを以て本事件は未だ高等法院の

審理中に 屬し之を地方法院廷に於て審理するは違法なり裁判長は之を受理するや否やと不意討ちを喰はす之に對して檢事は『豫審決定書の主文に本件を地方法院に送致すといふ明文なきにせよ決定書の主文理由を通覽するに本件を地方法院に送致すべき

主旨明白 にして決定書の理由に京城地方法院を本件の管轄裁判所と指定し『事件を法院に送致するを相當とし主文の如く決定するものなり』とあるに於て充分なり若し辯護人の申立に依つて之を不受理とすれば被告等に對し

再び豫審 の開廷を見るに至り被告の不利益事件進行上支障を招く事なるべし要するに例へ主文に本件を送致する旨の明文なきにせよ決定書の理由に之を明記せる以上本廳は當然本件を地方法院に於て審理すべきものと認め訴訟したるものなり』と辯駁す

遂に閉廷

傍聽者一同 呆氣に取る

裁判長は事重大と見るや陪席判事と共に別室に於て愼議の上再び着席し辯護士に對する決定並に被告の出版法保安法違反の檢事公訴に對する大久保辯護士よりの無効申立は共に明日（十七日）の公判に讓り本日は之を以て閉廷す宣する時に午前九時四十分開廷如何と緊張し切つた法廷内は意外の宣告に呆氣に取られ中には『何んのこつたい』とつぶやく傍聽者もあつた。

全市暗黑世界と化す

一夜に三個所漏電す

鮮婦人一名感電して慘死

十六日午後八時頃暗澹たる雲は益々濃密となり紫電一閃猛烈な雷鳴と共に篠を亂すが如き豪雨は六日より瓦斯の供給を午後八時限りとなしたる第一日として

全市暗黑 となり全く火光を滅し天柱碎け地軸折れむと怪しまるゝ折から龍山方面に於ては亂打する雷鳴闇を衝いて起り市民は素破大事と戶外に走り出で消防夫の馳せゆく後に隨ひ元町四丁目に轉倒したるに同町樸風方より出火將に大事に到らんとするを辛うじて消し止めたり

物凄き事 限り無く先頭の洪水に脅かされたる人々は安き心地さへ無かりし折柄午後九時に至り突如電燈消滅し電光の閃く每に闇は益々擴がり加ふるに週日の大出水の爲瓦斯製造に故障を生じ製造撒不足し

[illegible]

排日婦人團の巨魁

郭孝弟浦鹽に舞戻る

浦鹽新韓村に於ける排日婦人團の牛耳を執り同地韓氏學校教師たる郭孝弟（二）は四月十五日裏の際逃早くも鮮韓國境秋風嶺方面に逃走したるが我政府が僞改策を採りつゝありと聞き七月六日露領浦鹽に歸着せり同人は四月三十日一女を擧けて健康を害したりと稱し外出をなさず謹愼の意を表しつゝあり夫金演韓の所在に就ては口を緘して語らんとせず（安東縣特電）

汽艇鎭江丸 爆發す

瓦斯に火が 移つた爲め

安東縣警察署所屬小蒸汽船鎭江丸（七噸）は鴨綠江に繫留中十四日午後九時半頃爆發沈沒せり原因は船員朝鮮人姜某がマッチを擦りたる際瓦斯に點火せしものなりと云ふ損害約五萬圓の見込なり（安東縣特電）

昨夜の驟雨

雨量は十八粍

從來の驟雨につき京城測候所員は語る『九時から夕立が來て同廿分から十七分間が最も激しかつた其後は十一時五十六分迄續き午前〇時廿三分全く晴れた降雨量は十八粍で雨も雷も大したものではありません』

羅國皇太子

鵜飼御覽

名和研究所をも御參觀

御來名中の羅馬尼皇太子カロル親王殿下には十五日午前尾張陶器株式會社工場御巡覽の後鵜飼御覽遊ばさるゝ爲午後四時十四分發にて岐阜に赴かるゝ途中岐阜驛知事以下御奉迎申上げ夫れより高谷樓に御少憩の後名和昆蟲研究所を御參觀夫れより長良川に御成り御用船に御乘船古澤御漁場に於て鵜飼を御覽ありたる後同九時十分同驛名古屋ホテルに御歸着あらせられたり（名古屋電報）

漏電の爲 天井に火 ……らんとしたるものにて同人妻女來は是を消し止めんとして感電し慘死を遂げたり又同時刻に同町井上質文方引込線電柱より又同町三丁目田畑中方變壓器よりも漏電し何れも大事に到らずして消し止めたるが一時は非常なる騒ぎなりし

戰捷の光に輝く

ラケットを載せて

關西庭球界の覇者 神戸高商軍來る

朝鮮庭球協會主催其他の招聘に應じ關西遠征の途に上つた神戸高商庭球部は豫定の通り十五日夜入城した一行は教授田中全司氏引率の下に選手十六名である。永登浦驛まで出迎ると一行は三等列車内に紺の制服を着て學生らしい

元氣な顔 を並べてゐる、刺を通ずると一行の隊長田中氏は神戸から直行しました爾來道中で險悪の爲め十二時間も停められましたが一行は元氣旺盛です十六日はシッカリ練習をして七八の二回戰共に立派に戰ふ積りです京城は選抜の門出ですからね……』と如何にも

決意ある らしい微笑を漏らす。同校庭球界の歷史は永登浦まで出迎へたので選手達は大喜び記者や卒業生に京城軍の新陣を聞いたりしてゐたが誰かが『京城軍に負けたら卒業生に濟まぬ學校の歷史に濟まぬ……』と云ふ聲に選手達は一寸緊張したらしい

試合の日取 十七八兩日

神戸高商軍
（副將）武田（主將）（上田）（島谷） 岡本 久保 （濱崎）（桑原） 楠原 大岩 （青島）（濱田） 伊藤 中部 （岩坂）（定田）

全京城軍
（副將）池原（前田）（矢野） 小倉 大西 （古兒）（井田） 内藤 中川 （二村）（松本） 大内 （岩島）（構田）

試合は十七日午後三時半十八日午前九時より同部にて擧行し一般觀覽者歡迎す ……

△十七日……京城倶午後四時より……△十八日……同△同日スタンダード午前十一時より……十九日……

法大軍來る!

暑さは微へたが頗る元氣

試合は愈十七日から

試合場所は 京中運動場

法政大學野球團は十六日朝南大門驛着北條監督藤田主將以下選手十一名は元氣よく入城した出迎には京城球界の面々が驛頭に出迎へ一行は直ちに旅館に投宿した ……

幾らか怯 けてるらしい

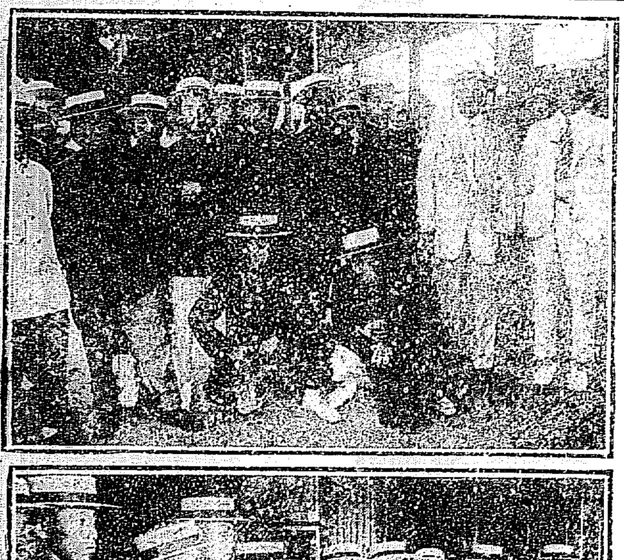
意氣大を衝く。南大門驛頭の法大軍 ……

試合期日は左の如く十七日より十九日迄三日間場所は三回共京城中學校運動場である

1 砂 澤 2 田 逢田 3 匹 田 4 小野 田 5 川 細 6 稻 本 7 山 井 8 酒 禪 9 荻 部 安 補

質問の矢 を向けたが聞けば今春のリーグ戰では同校の成績は思はしくなかつた由である一同鳳新管職復讐の秋を待らく其の小手調べとして京城を訪問する意氣込らしい、一行は南大門驛で協會員其他の

歡迎を受 け南大門通りニ見旅館に投宿した一行のメンバーは左の如し



南大門驛頭の剌戸軍と法大軍（下）

李堈公相手の 一萬圓事件

公判期決定

李堈公對東久世伯の約束手形金一萬圓支拂請求事件は過般高等法院より京城覆審法院に差戻されたるが九月二日公判開延の筈なるが東久世伯は代理人として……

古島重親等

令狀執行さる

……

虎疫彙報

船舶檢疫

鱷樽の中から 露西亞人の屍體

慘虐な過激派の所爲か 外の樽からも悪臭紛々

……沿海州の奥地に於て唯一の副食物として珍重せらるゝ鱷の鹽漬を樽詰にして輸入せらるゝものなるが……（同島特電）

防疫活動富員

道側の防疫

疑似患者續出

新患者なし

機關車脱線

大洪水被害

京城府調査

……

三人組の強盗

……

來り聞け！ 佛教界の權威

學者にして雄辯家… 朝鮮各宗寺院聯合會理事長

文學博士 椎尾辨匡師

「の深淵該博なる講演を」

演題 『國民思想の將來』

日時 十八日午後一時

場所 日出小學校講堂

主催 京城日報社

合併大相撲二日目

男つ振を上げた龍山 朝稽古見物は尠い

……

赤ん坊の屍體

激しい 稽古をして居た……

盛んに 打つかつて居た……

二日目取組

（大刀光）（常陸山） 大ノ海 （神ノ石）
（開月）（蛇林） 鞍ヶ嶽 （大ノ石）
（磐城嶽）（時） 大蛇山 （和水）
（能代潟）（嵐山）（若川）
太刀光 （阿久津）
大嶋 （平湊）
（藤の川）（小牛田）（若湊）
（瀬戸山）（上州山）（宮城山）
鳳
三杉磯

支度部屋閑話

△力士には酒飲家が多い……

水害義捐金

現金

△二百五十圓 京城スタンダード石油會社 ……

……

銀行會社の水害義捐金

……

讀者優待 全鮮興行中 合併大相撲割引券 京城日報社

各地最高溫度

……

演藝 サーカス團 ……

△文樂座 ……

奉天近事

▲不景氣と云ふ言は聞いてさへ實際不景氣に聞こわて嫌な氣がしてならぬ、から云ふまいと決心はして居る、殊に奉天の如き前途ある土地柄でチットヤソットの動きがあつたからとて直ぐ不景氣だとかアキまへんとか云ふ事はお互ひに愼みたいものだと云ふても矢張り不景氣が生む不景氣な事柄が次から次へと展開されて來るからツイ云はねばならぬ羽目になつたり不景氣な顔もせねばならぬから堪らない▲不景氣の生む産物では近來コソ盜の多くなつた一事だ一體に夏期にはコソ盜が多くなり空家ねらひや掻きらひやは冬期に比して多いのは統計の上にも表現してると云ふ常だから別に不思議がる程でもあるまいなど、納まつては居られない程多いから仕方がない警察や監獄や裁判所やが飛氣がよく御忙しい時は大底世の中が不景氣だと云ふ時だから此の景氣の良いのは誠に有からぬ次第だで此のコソ盜は▲今年のそれは從來のとは大分ごんな節合のものが多いか其筋の御意見を伺ひたてるとソロ盜の多くなつた一事は從來の種や出所が違う樣であるから一般に注意が肝要ヤラレて仕舞つて後始末を嚴重にしたり干物に氣をつけて見たりしても跡のお祭りで早速お互に氣を附ける事で其れは來新市街方面のコソ盜は大底が支那人の仕事であつた、今年も勿論支那人もやるが朝鮮人のコソ盜が大いに巾を利かしてると云ふから餘り餘處事には云へなくなる

輕卒な船積作業
到著港で品不足の悶著
殘つた屑物は悉く入札

大連埠頭の一惡弊
周圍に腐敗を來たし

大連より内地に向け輸出したる豆粕の量は五月中旬より六月中旬に至る約一ケ月間に於て約八百萬枚の膨大なる數に達し大連埠頭の堆積も稍減少せしが近來輸出入業者間に紛紜を醸成せんとする形勢あり又内地に於ける大連積出豆粕の聲價著しく低下しつ、ある事實にして數年前より船積豆粕の數量不足通常の事として荷受人に於ても大目に見て之が賣買を爲し居たるも近來其弊著しく倒底其の減り數を忍ぶ可からざるに依り横濱、伊勢灣、神戸等より苦情を持出し居れるが現に

輸出豆粕の
批難多く

非常なる缺斤あり之れ殊に油房の斷行せる耐用淘汰の前觸れに依る恐怖時代に於いて各倉庫の息業氣分横溢したる結果各倉庫の片端より無茶苦茶に積込みたるに因由するもあり兎に角近來大連埠頭に於ける船積作業の不眞面目なるは一般に認められ居れり斯くの如くして大連貿易業者の信用を失ひ並に

滿洲豆粕の
眞價を落

し商品取引上齢からざる不利益を招致すべきに至るべし（大連）

大連埠頭に於ける船積作業

船積作業は主として支那人苦力頭に任せの有樣にて數取等も其の正確を明し難く各倉庫の收容力全部を搬出すも猶七八百乃至千枚等の掘玉の殘存するものあり其の他屑物も百叺或は二百叺も出づる有樣なれば之れを見るも船積數量の不足せるを知るべく之等は豆粕の四個或は三個に割れたるを

二個を一枚

數へ船積する爲に斯く殘存品を現す譯なるが一面に船積作業苦力等の失態にて海中に取落したる損害を免れんが爲に豫め幾分の剩餘數を存せしめ置く習慣ありて前記の如く到著港に於て品不足の悶著を惹起せる次第なるが之等殘存品或は屑物は入札に付し年々二十萬或は三十萬の收入を得つ、あり

之の收入の

三分の一は輸出業者に三分の二は埠頭の收得とし居れるが之等は實際に於いては荷受人の損害を分配すべし而して猶先般積出されたる豆粕中に不合格品の多く混入せられたる事にて之は一倉庫の奧に庫入せられたるもの、新陳代謝し得ざる非常に古びたるものの搬出されたるものにて之等は

仁川陸運狀況
三萬四千噸

仁川驛六月中の貨物發著數量を聞くに發送二萬零七百六十六噸到著三千六百五十九噸にして之れを前年同月の發送二萬一千四百四十五噸到著七千百三十六噸に比する時は發送に六百七十九噸到著に三千四百七十七噸の何れも減退を示せり今主要貨物に就き兩年同期を比較對照せば左の如し（仁川）

發送貨物

品目	九年六月	八年六月
石炭	二、六三八	六、九九五
粟	一、七六四	六、七七六
鹹石	二、二二一	二、九九六
米	一、〇四三	四九四
セメント	六六五	一、八四四
醬	六四一	二、四五六
麥粉	二二六	七八八
大豆	七四	五五五

噸

到著貨物

品目	九年六月	八年六月
大豆	五五七	一、五三〇
米	七八四	二、五七四
粟	四三三	一、三三八
木材	二九八	三、七八
綿織物	六一	二、五五
雜穀	六〇〇	二、一七
石材	二三〇	一、九一

大田防疫協議會

大田に於ける防疫事務に就ては長谷川署長により夫々考査中なりしが愈々成案したるを以て七月十四日面事務所に於て長谷川署長、豐田大田郡庶務主任、渡邊面長、牧内面衛生主任、其（ここ元山）

全北稻作狀況

全北に於ては六月以來旱天打續き挿秧は勿論植附苗畓も龜裂し枯死するの慘狀を呈し一般に憂慮せられ居りしも幸に二日以來連日の豪雨に殆んど各地植付を終り農家の人氣頓に恢復したるが此れが先全北道廳は萬一を慮かり挿秧に關する注意を各郡に發したるに幸にして其の後二日を經て此の潤ひを見たり去れど挿秧期旬日を遲れたれば水稻の成長に至大の惡影響を來たしこれが爲約一割の減收は免れざるべき見込なるも昨年に比し本年は植付面積約二割の擴張を見たれば差引例年よりも增收の見込みありと（光州）

客月元山貿易
入超六十萬圓

元山港に於ける客月中の貿易狀況を聞くに輸移出は魚類鐵鑛黑鉛等を主とする十二萬九千八百六十八圓輸移入は石炭漁網布帛類粟小麥粉等を主とする八十萬五千百卅圓合計九十三萬四千九百九十八圓にして入超實に六十七萬五千二百六十二圓を示せり而して更に之れを前月に對比せば輸移出に於て十三萬七百卅圓輸移入に於て五十八萬九千四百五十四圓合計七十二萬百七十八圓約四割三分の大激減を示せり之れ夏枯閑散期に際する當然の結果なりとは云へ財界變動の餘波を被れるに由ること勿論なり

四方八方（三）

▲全州支廳檢事吳山兼吉氏は曾て全州青年會長として潑刺たる元氣を示した會員は何れも曾長のためとあらば水火をも辭せぬ覺悟を以てゐたが今回大邱覆審法院に榮轉二十日赴任すると云ふうだが斯かる人を全州から去らしめるは惜いとは一般の聲▲一つ惜いのは全州警察署長兼鍋島平氏が第三部警務課長として轉任した事である、氏は事務の上にも社交の上にも仲々拔け目のない所謂出來物である而も本道には十何年轉々した關係上道内の事なら隅から隅まで手に取る如く知つてゐる後難巡査は氏を指すに警察の神樣と云つて居る▲北村警視の後釜として警視になるだらうとの噂もある早晩其の技を見る事だらう▲渡鍋署長の後釜としては仁田警務課長が据る事になつたが氏は未だ壯年新進氣銳前途あるの人、三部長の眼鏡に依つて殊に五月蠅いと評判のある全州署長に轉じたのは氏のため慶賀す可き事である

全北農事講習會

全北道にては二十三日より全州公會堂に於て農事講習會を開催する事となり講師としては勸業模範場向坂技師を聘し本道農業技術員に水稻栽培に關する講習を爲す筈なり因に第一日より第三日に至る三日間は郡農業技手をして水稻稙子更新五箇年計畫に基く種子更新後に於ける處置方法に關し協議會を開くべしと（全州）

仁川商議役員會

仁川商業會議所にては十四日午後一時半同所に於いて役員會を開き大邱商議より照會の不動産

春繭販賣高
約三百五石

全州郡の春繭共同指定販賣は七月中三日全州郡蠶絲會社に於て七月中三日全州郡蠶糸會社に於て...

守備隊檢閲

全州　守備隊第三十六旅團長は全州守備隊の檢閲のため十三日午後六時裡里発全銀行にて投宿翌十四日守備隊の檢閲を行ひ十五日午前七時半發列車にて出發光州に向ふ（全州）

大田の尼港
殉難者追悼會

大田愛國婦人會支部在郷軍人會及各宗寺院發起となり七月十七日大田小學校々庭に於て尼港殉難者の追悼會を開くべし（大田）

全州の雨量
一坪當二斗餘

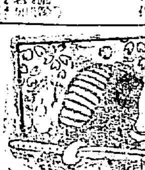
這般來の大豪雨のため各地共に多少の水害を蒙りたるが今全州測候所に就て雨量其他を聞くに今回の雨は二日より降り始め十日迄降り續けたるが其雨量は合計四百廿一坪當二斗三升十均水深一尺三寸の多量に達し尙ほ其後にも時々降雨ありたり（全州）

鴨江の舟遊
安東支局　聊山生

連日の炎熱、吾れ人共に恰かも釜中に在するが如き心地す、月の十一日は日曜日に相當するを以て、採木公司の新居小森氏寫眞師を發起人として、同志十五名を相誘ひ、鴨緑江上の納涼を思ひ立つ、正午後一時江岸に集合の約なりしも、時間觀念の薄弱なる甲乙、遲れて集まり盡が解きしは五時半を過ぎたり、十五粹中の紅二點、名は誰ぞ識なりしかを知らず、時將に滿潮にして、江上の風爽涼恰かも秋に似たり、上甲板に席を敷き用意した胸襟に滿ち弁當を開き、先づ麥酒の滿を引く、泡風に吹かれ飛び、冷凉咽喉を潤して深谷の眞清水を掬ぶにも似たり、須叟にして酒溫まる、盃を擧げて回顧すれば、汽艇の快馳すること弗の如く兩岸の光景千變萬化し來つて活動寫眞を見るに彷彿たり、麥酒の滿を引けども江上煉々酔顔を沸ふて又斧らて飲を夢みるに到らず、沼仙M氏、N氏トロリンゲンとして氣焰甚だ揚らず、船を六道溝に泊して衆相顧みて快を叫ぶ、人一語吾れ一語、數務笑聲、兩岸の崖切りを驚かすこと甚し、上流より一漁艇來る、之を迎へて爭ひて試む、彼れの與ふる處々其の如く々、恰かも牛と馬の競爭の如し、蓋し天鼓乗手を打つて大に喜ぶ、蓋し天與樂しき嘆の快意にも似たらし、殘麥酒罌か尙に酒猶は盡きず、殘肴皆の腑を慰むるに足ること夥も、蕭颯の涼氣に紅塵の所を取り、皮膚の炎熱を流江岸の栄福に遊ぶ、即ち舵を轉じて江岸の栄福に遊ぶ、此の間正に二時間也、訪ぬれば天下の風流子、三斗の紅塵に浴し百度の苦熱に悩む時は、去つて鴨緑江上の晩風に嘯け、況んや月明の夜、笛を乗せ、酒を乗せ、美人を待らせ、蓋し人間を超脱して仙に近づく、終りに採木公司に對し感謝に謝意を表す

俠客・訓天吉松
神田伯山講演
第九八席

常『成程私も六七遍は前には御出でなせいよ、持ち居るといふ譯でもごわせんけれ共も調べた位は覺つて居りまする、ごうやら斯うやら細くらに立つて居りましたから、江戸、のお客様にも二三度お交際をいたした事もございますけれども何の一人や二人のお交際の金をお貸し申したつて日本一の廣い江戸へ、私のやうな者の名前が知れて居る道理がございませんん、大親分の殿治町の長兵衞元は、私の親分荷門村の六兵衞と違ひまして、却々の人物、幾千勢乾分衆もある事だから、孫の常五郎なんぞに公然に俺の名前で遣る譯に往かねわから、お前達が斯うでも云つて屆けてやつて來て呉れろと云つて、此のば貰つた」奉行？……サア出しちやら右へ…と行くと、甲州町へ出るに違うござい、ますから『吉』イヤ大きに有難う、ぢゃア新免よ『常』ハイ……『爲なら……』一家へ這入つて來て常『マア母さん見ねわ、お久振りねい目を繁敵いて、阿母が手塩の十両だ『母』ドレお見せ『見りで十兩の金を撫で、見てアヽ有難い、之だけあれば此身にも暖かい、物の一枚も着せられえやお前も人中へ出るりだから汚い著物を著て居ては嚴に外聞がない、假令木綿でも小綺麗りした綿の入つた物でも著るがよいそうせ私は始終家に居るのだから何んな物でも著て居られるが『常』マア阿母さん、是も買ひなさい、アソを取つてつたら、アア何にも云ふ事はねえ、男女頭金の金を借るなア、こんなに借るのより錢の僅、三兩四割で借るのを何月までにと返すと云つて持つて來なけりやいんだ、必ず何月の何日までにと返すと云つて持つて來なけりやア著物を剝いでも持つて來なけりやア著物を剝いでも持つて行かなけりやアならねえ、夫でも遣さなけりや仕方がねえ、斬ッて行くんだ『も睨でも叩き切つて行くんだりやア覺悟をして返答をしろ。』



金は大親分の胸から出て居いたに違ひないんでございます、私は身分が好い顏だからなどと云ふ、然んな自惚はございません、ごうもお二人さんお使ひ何のこつた、夫れちゃア矢張りの金を持つて來りゃア宜かつたつけ吉『愚痴を言ひなさんな出たもんでございます、長兵衞親分とゞいふ人は實に豪れんだ、長度仰しゃる通り親分の方から親分の恩を忘れちゃア不可ませんよ常『有難う存じます、阿母お禮を言ひねわよ母『ごうも有難う存じます決して御恩の程は忘れません、ごうもお二人御苦勞様、お歸りになつたら大親分さんに宜しく仰しやつて下さいまし吉『アヽ阿母さんや身體を大切にしなせいよ母『有難う存じます吉『サア遲くなつちゃア不可ねえ道で仕樣がねわから、モウ出掛けやう左樣なら』常『ご苦勞様でござ〔illegible〕した常

云ひなさんな、俺なんざア何んな扮裝をしたつて構やアしねわお前には必ご何んだ、小袖の一枚位は拵へやうし、夫れから先寒さも凌げるから綿の澤山入つた物を著して居ねわが……親分が一枚も心配するか睦まじく話をして居ると傍に表の方から○『常五郎は家か常五郎は居るか常『喧しいやい何んでね、阿母の前も面目ねわ、大きな事をいふな、何奴か知らねわが恰て世話にでもなつてるやうに○『何を吐しやアがる、常五郎と呼付けにしたのがごうした』障子をガラリ開けて這入つて來たのは、韮崎の富之助といふ博奕打の乾兒で四天王と云はれる茨城の淺五郎、石切の國五郎、伊澤の虎八、鰍澤の與八の四人常五郎の前へ立つて淺『ヤイ常』常『何でわ』淺『何だやアねね、汝此間俺の親分の韮崎の富之助の盆の座へ來て、二

講演會開催

一、演題　國民思想の將來
一、講師　朝鮮佛教各宗聯合會理事長　文學博士　椎尾辨匡師
一、日時　十九日午後七時半より
一、場所　仁川歌舞伎座
主催　仁川各宗寺院聯合會　京城日報仁川支局

滿鐵定時總會議事錄（十）

四億乃至五億の金が入る其金には今年より先づ差の御豫定なり、しかし斯くの次第たる御批判なきまゝ會社の大計に於て若干の經營に鑑して

松本理事

第一の御質問に就ては實は私は從來の成行を知らぬ、又今後は如何に變化するか、又何時頃から何れの方向へ出るか一々自分で經驗して、

如何なる時期に於てするかと言ふ事は充分承知して居ますが、併し其の多分に於てはない事が茲に出來て先刻申上げた或は自動的のものではない、なるべく早い時期に於て御決定を得たいと思ひますが、又ある事と信じます、それから第三に今後の五年の大きな計畫に就て大正八年度末に既に認可を受けて居るのであります、又なほ續けてやらなければならぬ事業の様な事は知らぬが此の時の新事業を爲す、即ち此の事業を實施して行く事を決め、それが爲に大に此の事業を擴張して、一面に於て何等かの事業を爲る事と致します

んと云ふのなら其様な仕事を求めてやる事はない、が要するに只今の範圍を越る事はない夫れより内輪に取るといふ事は云ふ仕事ではない、出來るか考へて見る、而して失れをやりました仕事は到底出來ない、只今の所では非常に困難で、否應なく

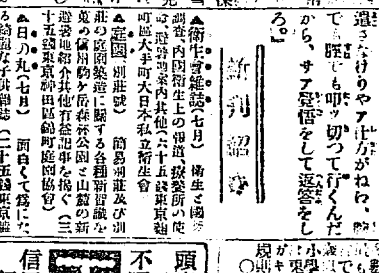
一般の鐵道其他に關係してやらなければならぬと思ふ、法律上の變更へなかなか出さん者でも何でも强制して

漫遊新局（二）

於撫順千金寨新町角田龍吉宅　滿呂木六段歡迎將棊會

平手　七段▲矢野逸郎（撫順）　六段△滿呂木光治（京城）

（圖は前號指了迄の局面）　△持駒　滿呂木氏　角歩



△五八金右▲同金△同三金△四六歩▲六四銀△五七銀▲二二玉△六八玉▲五二飛△六六銀左▲七四歩△七八玉▲七三桂△六八金スグ▲四二金スグ△一六歩▲一四歩△九六歩▲九四歩△三五歩（ロ）△同歩（以下次號）

講評

△（ロ）三五歩の桃戰は無理なりし此處は二六飛と上りて敵の模樣を窺ふ處なり

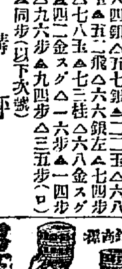
新刊紹介

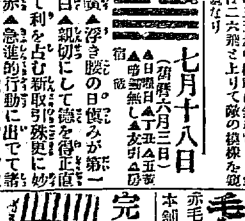
▲衞生會雜誌（七月）　衞生と國勢調査、内國衞生上の報道、檢疫所の施設、避難物件其他（六十五錢東京麹町區大手町大日本私立衞生會）
▲庭園（別莊號）　簡易別莊及び別莊の庭園築造に關する各種新智識を先の桜川別ケ岳森林公園と山麓の新避暑地紹介其他有益記事を掲ぐ（三十五錢東京神田區錦町庭園協會）
▲日の丸（七月）　面白くて爲になる有益な子供雜誌（二十五錢東京雜谷エビス文教社）
▲婦女クラブ（七月）　十五錢東京谷エビス文教社
▲コドモクラブ（七月）　十五錢東京澁谷エビス文教社
▲食物の養生（七月）　二十錢東京牛込區市ケ谷町右衞檢查所
▲教育時報（七月五日）　十八錢京城府光化門通田町附發社
▲京城新聞（六月二十五日）　五錢五阪大阪府西成郡鷺洲町共社
▲閑の敵（六月）　十錢京城旭町同

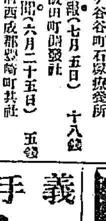
七月十八日
（舊暦六月三日）
▲日曜▲丁丑▲五黄　▲宿　▲井▲勢無し▲友引▲危

▼五黄▲浮き腰の日愼みが第一
▼六白▲親切にして德を得正直にして利を占む新取引殊更に妙
▼七赤▲急進的行動に出でて諸事成功旅行金談縁組投機思惑吉
▼八白▲面倒事引受けぬが得策
▼九紫▲華やかにして商賣繁昌の日旅行入學求職名弘婚禮亦吉
▼一白▲がつかりする事ある日
▼二黑▲行詰る日新事は見合せ
▼三碧▲可惜用財を叩かる▲日
▼四綠▲氣乗のせぬ日奇怪の事に遭遇すべし靜かに守るべし

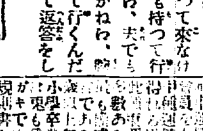
コレラ豫防に
蠅滅
總督府並二警察衞生課御用
商標御注意（包裝青色）
京城本町四　本舖　川浪濟生堂


金剛牌　受領
本椿香油
男女頭髮育毛椿本ホマード
毛を黑く長くつやを出し
赤毛くせ毛ぬけ毛折毛を防ぐ事妙
本舖大阪朝中通一　三宅堂


完全堅牢第一靴へ
尾崎式實用靴
新品上等ボックス皮高等靴　五圓五十錢
短靴五圓八十錢上靴六圓五十錢
半深ゴム靴七圓五十錢
一枚皮深ゴム七圓五十錢
代金引換は高等靴四圓五十錢
御注文ノ際ハ足袋文數御記入ノコト
東京市本所區押上町電車通
振替東京三四六一
尾崎製靴店


義手足
特許理想的ゴム製股脚帶
專門製作　高野義肢製作所
（見本郵呈す）京城本町一丁目

頭痛　神經衰弱　不眠症の人！
エクレス
（全國藥店に有り）
信用あり評判のよい本品を！
エクレスは高橋博士監督の下に出來したる神經鎭靜劑にして神經系統の治療並に沈靜の作用あり品質純良ヒステリー眩暈逆上減退健忘症等の諸症不眠に苦しむ人は御試用あれ。
定價　八十錢　二圓四十錢
東京室町　泰昌製藥株式會社


▲紳士的新職業
男女拾八歲以上
[illegible]

不安定の秋に
不安極まる金庫を購入せらるるは
最も不安の狀態を重くするもの也
家庭の安定は
絕對盜防!!
絕對火防!!
谷田式鐵筋コンクリート金庫あるのみ
▣定價表耐火試驗報告書御申越次第送呈す▣

谷田式鐵筋コンクリート金庫發賣元
大阪市西區九條警察署前
合名會社　廣瀨商會
電話西六六七一、一六四二、二八四四番

脚氣貴重藥
旭藥品工業株式會社製造
エクイニン
說明書贈呈
本品は脚氣病に對して眞に神の如き卓効を有し輕症は〇・一瓦を含有する錠劑四乃至六個を以て根治し重症と雖も十五個乃至二十個を以て全く根治せしむる貴重藥なり切に諸賢の高評を俟つ
▽六錠　二圓　▽十八錠　五圓　▽必治保證
京城南大門通一丁目　新井藥房
電話九〇四、一〇六八　振替京城一六番

東京旭會所屬　黑木旭冠師
歡迎筑前琵琶大會

旭冠師　旭江師
後援者　京城通信社長　大巖丈夫　辯護士法學士　内田守藏　辯護士　榎本陸　辯護士　小川勝平
會場　京城公會堂
日時　七月十七日午後六時
會費　普通　金五十錢　特別　金一圓

演奏曲目
曲目	演奏者
羽衣	吉岡旭柳
上野彰義隊	佐々木旭春
白山劍	岩川旭寒
川中島	小川旭濤
水平	龜田旭剛
羽衣盛	鶴井旭帆
寛下	榮川旭洋
鵯越	永井旭[illegible]
後藤	加藤旭[illegible]
楠ノ寺	船川旭[illegible]
筑波ノ若	坂井旭[illegible]
佐竹川	黑木旭冠

主催　旭會京城支部

登錄商標
高等醬油

鶴醬油釀造所を繼承しまして最善の改良を加へ理想的の製品を得ました
爰に商標を改めて愈々賣出す事になりました是非一度御試下さい
特約店御希望の方は至急御申込被下度候

株式會社　高等醬油釀造部
電話三一九番

商況

株式

東京株式（至急電報）

十六日第一立會　前日比較

銘柄	値段	前日比較
東株	二一七、〇〇	二、一〇高
同新	……	
一新	……	
二新	……	

東京現株（至急電報）

十六日中値　掛込　▲騰貴△下落　價

銘柄	掛込	價
郵船	一〇〇、〇〇	△一一四、〇〇
同新	五〇、〇〇	△三九、〇〇
東拓	五〇、〇〇	
鮮銀	五〇、〇〇	▲五〇、〇〇
同新	一二、五〇	▲一四、五〇

大阪株式（至急電報）

銘柄	十六日前場寄付	十五日後場大引
大株	一九九、六〇	一九八、六〇
大新	一九九、〇〇	二〇〇、〇〇
郵船	一五七、八〇	一三六、四〇
商船	七二、三〇	一五七、〇〇
同新	二五〇、〇〇	七一、二〇
鐘紡	二三〇、〇〇	二四六、八〇
同新	二二八、〇〇	二三三、〇〇
東紡	九一、〇〇	二二七、八〇
東米	一一七、〇〇	
堂上取	一五四、一〇	五三、九〇

安東株式（至急電報）

十六日

銘柄	十日限	廿五日限
安東取	二三、五〇	二三、〇〇
信託	二二、五〇	
滿洲		

京城現株

標準値段　▲印騰貴　△印下落

銘柄	掛込額	値段
仁取	四〇〇	一七、〇〇
京株	一二、五〇	▲二七、〇〇
安信	一二、五〇	二四、五〇
鮮銀	一〇〇、〇〇	二〇〇、〇〇
同新	二五、〇〇	三九、〇〇
朝銀	五〇、〇〇	一五、〇〇
新興	一二、五〇	四一、〇〇
東拓	一二、五〇	五二、〇〇
大土	一二、五〇	一九、〇〇
朝紡	一〇、〇〇	七〇、〇〇
朝毛	二五、〇〇	一七、〇〇
朝糖	一二、五〇	二八、〇〇
電興	一五、〇〇	二五、〇〇

東京先物別報

前場（東株）二一七、〇〇▲同新五七、〇〇▲東株二五、五〇▲富士紡一三六、〇〇▲東洋二五、五〇▲鐘紡二四三、四〇六、四〇▲日清紡八九、五〇▲東毛八六、一〇（近藤商店入電）

北濱だより

氣味の高下

最近の市況は一進一退を繰返して好況に向ひしが如く見わて然かざるとは同時に又不況に陷りして下落淋しく不適確の商談を漁れるが周圍の事情に對して何等怪しむに足らず財界の不安は一般の注文杜絕となると共に地場の疲弊は益々閑散に陷るのみ此の市場の打續く不振に加へて臨時議會へ提案されたる現物市場法案の通過するが如きこともありては取引所に取り當に由々しき大事なりと今更の如く當事者は狼狽を始めたるだけ仕手の氣迷は愈々深く其の日くの思惑以外は殆ど據わし商內なければ大株鐘紡以外の諸株に至りては全く一顧だも與へらず今前場の如き大株の二の如に於て中限はバイカイさへも振り手なき出來不申を示したる程こて今や市場には眞面目に强弱を論ずる者なく全然形式的

京城現株市況

昨今の勝氣はかたたまに指氣に陷らしむる株式界を一層沈滯に陷らしむる觀ありて今朝の如き紀り閑散を呈し京株の五六十錢方小高きの外は殆んど變らず安東信託の百七十四圓五十錢仁取の百七十四圓より二圓見當の商內ありたるのみなり手合平均値左の如し

銘柄	値
安東信託	二一四、〇〇　一八〇
東亞新	一九、五〇　一五、〇〇
京城現株	一七、二〇　一〇〇
殖銀新	一五、五〇　五〇〇
仁川取引	一七、一五〇　四〇〇

東亞新の買氣

東亞新は昨今二十九圓より九五十錢見當を唱へて連日相當の商內を示し居るが同株は昨年米穀所の買上げを氣構へられて一時非常の好人氣を以て迎へられたるも其の後議會の解散に依り延期の止むなきに至り掲て財界の反動に依り昨今の値頃に低落したるが右專賣案は今特別資本の二割以上は裕に配當可能なりこいふ

當分無相場

綿系布の解合は決定し既に應合金の決濟を行ふ段取こなりて仲間同志の決濟は案外圓滿に終了するならんこ認められつゝあるも紡績會社の決濟が果して無事完了すべきかに至りては何人も至難さを觀察し居れる爲め綿系布界の前途は一種の不安を蔵し居れるのみならず今月の貿易は幾分入超の傾向ありこ雖も此は當然の經路にして此を以て下半期の全般が人氣回復の狀ありこも九月に入るにあらざれば米作の豐凶も斷じ難く而して實行家の神經は依然過敏を極めて徒らに遊ばを得ざる所で景況の理由が好き現状に鑑みせば界界の安定を抱きて苦しみながらも何爲す所如何こもすべからざる當分此勞の時合を往來するの外なからん

動かぬ株

動かぬ相場

▲仲買業の大同やら年手いが何年待つたさて動きさうもない相場になつてかつたと▲動けぬが動かぬのか原因は孰れも結局は同じである▲値頃の觀まる迄は以上買ひ得べき資料なく財界不安資るにが値頃の顯疏の迷ぶ手の立場にある二頁兩舷の動けぬ仕手の動かぬ一因でもあるこれを告して相場の動くに足る有様▲材料から觀ても仕手關係から觀ても動き能はぬのみか値頃共省が賢り難く買離い恰好の居所にある以上此中の何れかが現狀を打破せざる限り何んとしても持合の外あるまいがらず動き能はぬのみか値頃共省が

京株小高し

京株は今朝二十七圓二十錢迄の手合ありて人氣は七圓五十錢以上を唱へ昨日よりも更に五六十錢方針引締まりたるが一般に貨物波に先物契約するる時價より小一圓高を唱ふる筈限先今一段の高値を豫想さる

安取配當豫想

現在資本金二百萬圓の安東信託が二割配當を爲したるに就ひて同社が來る十月五百萬圓に增資して安東取引所に改造されたる

株式現物問屋

（源）南源兵衛商店（前名源太郞先代復名）
京城明治町二丁目　電話一〇九六番　八七番

後の配當豫想如何を同社專務に就て聞くに改造後は米穀取引の二品を追加する計畫にて米穀は支那米を標準とすると同時に雜米を以て代用する事を得せしむる筈なれば一日も早く開設の運びに至らざるや知れざる急の新義州に設くる豫定なれば每米を見れば取引後は米穀取引追へる資本の二割以上は裕に配當可能なりこいふ

株界片々

財界の救濟も最早氣が付いたか今の所謂格別の反撥を報ぜず不景氣は大景氣の前兆でもあるこ限りなしとの遣り口が早く來た不景氣で日本銀行が法手段で財産を投出した的に來た譯ではない…

効果はなく總理大臣が嫌でも同情を得て財界救濟の反撃が現はれないので現內閣や政友會に對する非難の聲は昨今漸く熾烈さを加へて來たと同時に財界の一角には這般の株式暴落の聲が起つた▲其出所が何處から來たかは知らぬ政府の救濟策の效果がないこ云ふ事實が同時に起つたこすれば三菱が策の政府弾劾の演説に三菱婚加藤子の政府弾劾の演説に勳かされて株の買叩きをした譯でもあるまい▲這般噂をされる三菱こそは好い面の皮だこ同時に三菱如何に富豪でも世界の經濟界を動かす力はあるまい

米況

東京期米特電

十六日前場

限	値
當限寄付	三十六圓五十一錢
同 止め	三十六圓五十一錢
中限寄付	三十四圓七十一錢
同 止め	三十四圓七十一錢

●日銀帳尻　七月十四日現在左の如し

發行高　一、一三六、六七三、〇〇〇
正貨準備　九八九、九四七、〇〇〇
保證準備　二六、七二五、〇〇〇
保外發行　…
作用高　三九二、九四〇、〇〇〇

●鮮銀券日報　七月十五日の現在左の如し

發行高　九六、六五二、四五一
正貨準備　四九、三五二、〇〇〇
限外發行　…

●京阪金利　七月十五日の現在左の如し

	東京	大阪
コール無條件	…	七〇
翌日物	…	…
六十日物	…	…
割引歩合	…	三二、〇〇

大阪期米特電

十六日前場

限	値
當限寄付	三十六圓七十九錢
同 止め	
中限寄付	三十四圓九十九錢
同 止め	

	日後場	十六日前場
寄付	…	三六、二九
安値	…	
止め	…	三六、九九

神戸期米特電

十六日後場

限	値
當限寄付	三十四圓八十一錢
中限寄付	三十三圓八十三錢
先限寄付	…

	十六日前場
寄付	三六、八〇
高値	三六、〇〇
安値	三六、〇〇
止め	三六、八〇

下關期米特電

十五日後場浮迫自先限賣人氣

	當限	先限
寄付	三六、八〇	三六、〇〇
高値	三六、九〇	三六、〇〇
安値	三六、八〇	三六、〇〇
止め	三六、八〇	三六、〇〇

釜山正米特電

行出期米軟弱を入れ今朝市場崩れ氣を見したるも氣配存外に強硬にして强持合を告げ三等神力四十圓四十錢穀良都四十圓五六十錢所にて二千叺の商內出來せり（十六日）

群山正米特電

八月中限三十五圓五十五錢前末限四圓八十錢現物八圓丁度こ持合ひ姿なり（十六日）

仁川米期

十六日前場（不勢）

蒸し暑き人氣も軟化の留前に頻押されたること同時に今朝大阪安の小甘きに當付三十二圓八十錢の小甘きに當中出來ざるが先大阪の買りに小戻し

二十一圓四十錢こ二十七下安に寄付…の斷引に三十五錢こ追擊せしが山布團の買いに四十七錢こなへられし據先ゞるゝ追擊貢りを試み四十錢こ下押せしも跡買物起かす五錢こ川の買いに小戻して引

▲第二節　…出來ざるも中川の買いに三十一圓二十錢こ始め先三十五錢こ氣味惡しく始めしも押目は小口の手當めに小相場に見たる日先筋の買物に支へられ四十一錢こ小締りして引
▲第三節　當中出來ず大阪四節八十錢の手堅さ移りにて先五十錢こ小戻して引
▲第四節　當限のバイカイに六圓五十錢こ始め中出來ず先五十五錢より六十五錢こ出布の買に締まりしも商內閑散にて先五十五錢こ持
▲第五節　六十錢こ押し五十錢こ持合ひに引

十錢こ小甘

大阪八節七十錢こ小甘く當出來ざりしが中盛の買に四十錢こ始め先六十三ゞよりギリ安の六十錢こ押し三錢こ無活氣に右引せり

商內益閑散

今朝は二圓三十五錢を高値に六五錢を高値こして此間僅かに六二十丁幅の小爭ひを以つて大引し出來高も前場を合せ十一萬餘石こ云ふ近頃以つて珍らしき閑散を呈せしが斯くの如く漸次縮落の値幅を縮少し來れるは元より

後場も不勢

前場商內閑散無活氣を呈したるか大阪後場三十二圓八十三錢この持合ひ悪りに後場も三十二圓六十二錢こ小堅く始めしが戻りは頓張めの賣賈起し三十二錢こ戾しゝ跡の買進みに四十八錢こ戻しこ六錢こ持合ひに引
▲第二節　當中出來ず先三十九錢より八錢こ小廻るみたるが

大阪四節七十二錢の手堅き入電に四十四錢こ戻ヘ引

現在出來高
先中當限　一萬〇八百石
取組高　二萬五千五百石
總出來高累計　三千三百九十八萬一千三百石

前場	後場
當付	…
先中	…

市場雜觀

重要謹出不振中は當限でも大日本より買人少の商の勢の三の出來不申は當限でか先物も中限に二三錢合ふばかりに手の氣味わりに…（後場）

大阪三品特電

十六日前場

限	値
七月限	三三九、九〇
八月限	三三四、〇〇
九月限	三三五、〇〇
十月限	三三五、九〇
十一月限	三三五、〇〇
十二月限	三三五、一〇

浪華板小締る

東京筋引渡予し板は當商品の引渡約束による今後の輸入銀行金融關係より放任せる浪商品の處分を見出し市場の商況相場の觀ほに見へる等にて前場不振に係る持合ひを見る…

清酒弱持合ひ

全般關係こし趣味の稍弱れに一時投物出りて市價を下押したもの昨今の需要筋も手持品の消化に連れて行き懸念に買控への小賣業者に及ばずして漸く軟化せるの樣子…

地場軟派の談

地場某氏は此の不制にある定期を評して日く勿論期米や正米の採算上から云へば出來るこそ云ふべきなでしも夫れが賣ひ難いが即ち一時世の然らしむる處にして本年一月以降採算を没却せし者方は賞に同情すべき者あるに同時に手を遮らざる處分方法に付いても實に受ける所あり…

仁川正米市場

手持者の賣惜みに手堅き商狀を呈したるも釜山群山の不勢を受けて當用口の買控へ勞今朝は氣配可成り下押し市況極めて閑散を呈せり

栗も漸次不勢

果は賣品の不引立ちこ正米の軟弱分に氣配不勢にて今朝に於て…

大豆ヂリ安

大豆は昨日來の引續く內地筋の新出大阪沖氣は…安値の値段見ゆる…

白米更に弛るむ

白米は原料不振にもあり昨昨の折米…

京城正米市場

釜山方面の强調こ貨物ガスレの折柄氣分の奮に田割の下足これに伴はず今朝は地割上五三十六圓五十錢こ二十錢なきに過ぎゴるが何分稍量好調に加はへ其後の仕込み充分にて稍の騰青こ株張り等中分なき今日こて茲愈不安觀念を强め來りしも…

流行を代表する

縞セル

一反の二圓三十錢

明治四十五年以來引續き無茶苦茶の安値にてぶん投賣を斷行し常得意の御引立を仰ぎ先に百萬反を賣ました…

京城 東京市日本橋區本石町 …

おどりの獨稽古

◎日本で始めて出來た！
◎最新流行の一大雜誌

酒業登記公告

清酒卸業　明治…年…月…日登記
京城地方法院　春川支廳

限特價八十錢

至急一冊　無代添呈
帝國舞踊會　振替東京四九〇三番

建築工事入札公告

一、工事名　公立普通學校校舍其他新築工事
（イ）本館木造瓦葺二階建
（ロ）此建坪百八十九坪
（ハ）此建坪合計…
入札期日…
大正九年七月十五日
朝鮮總督府府尹　松井信助

清酒

醇良清酒
京城南大門　時納屋總本店　電話九〇一番
（商標）合名會社　屋栄

急告

專賣特許　改良麥製造
小賣値段一斤に付
金貳拾五錢
麥食ノシーズン不拘多少御用命願上候
京城古市町
淨浦精米所
電話長三〇四二番

腦病良藥　ヘーベレ

醫學博士　田中先生　…先生　主治…　發賣…
京城 …薬院
三十錢・五十錢・一圓

目藥

シュマズ　イタマズ　目藥中の目藥
（價廿錢・卅錢・五拾錢・壹圓）
大阪、東京
本舖　高橋盛大堂藥局
至る所の薬店に販賣す

一滴

さした一滴きゝめ一番

運動具全部到着

赤Mボール入荷
京城本町　篠崎運動具店

内科・小兒科

村上病院
京城永樂町一丁目（商品陳列館前）
院長　醫學士　村上龍藏　電話六一一番

陀鳥印クルーム革製造元

靴鞄馬具材料直輸入
卸及小賣　牛皮貿易
朝鮮京城大田
大田皮革株式會社
電話長一三三四番

株式會社　海東銀行

七月十七日營業改始
資本金貳百萬圓
京城府南大門通一丁目
頭取　尹德榮
專務取役　沈相翊
電話二三〇〇番　振替貯金七九一六番

移轉先

今般業務擴張ノ爲メ左ニ移轉仕候
京城府南大門通三丁目八十六番地
愛國生命保險株式會社
朝鮮支部
支部長　高橋彌太郎
電話長二八六〇番

眼科專門

金井眼科醫院
京城若草町（新設道路中程）
電話一五五六
新築落成◎入院隨意◎日曜祭日午前中

期米賣買同志會

一擧千金の時は來れり
底落三千丁其反騰や如何
天災來て一大應援力あり
大反撥の出現目捷に迫れり
勿逸千載一遇の絶好期を
加入金　一口百圓　半口五拾圓
締切八月六日限り
京城…期米賣買同志會事務所

自動車飛行機運轉手生徒募集

入學期日…每月一日　▲日鮮男女不問
卒業期間…二個月　學資金一部貸與之便有
▲朝鮮自動車飛行機學院
釜山本町二丁目（電話九九〇番）

京日案内

▲市内某大食料品店に販賣員至急入用希望者來社あれ

▲獵銃

京城永樂町貳ノ七六　志田

外務社員採用

高給…
太陽生命

▲看護婦募集

讓古店

工所ヲ讓

賣家

白神洋行

レール車輪中古品

事務員募集

求乳母

京城古市町四三　電話一六九番　和田

▲金融月賦貸付

古本高價買入

村上書店

女中一名入用

京城明治町一丁目　小林

▲乳母入用

最も安心の出來る靴

松本高等靴製造所
東京本所三ノ橋
電話本所五〇二番

外科產婦人科　耳鼻咽喉科

井水醫院
仁川本町三丁目（北島藥店跡）
入院隨意　電話六〇番
醫學士　井水柳三

關西聯繫總會事を攻撃

停戰命令要旨

剣舞（五七）

碧瑠璃園
挿畫 森田ひさし

鬼の月（七）

栄之助はそんなにされても、折鞄は手から離さなかつた、大力無双の助一から突き出された時、ぴたりと地べたへ轉んだが、それでも折鞄は持つて居た

『貴様のやうな奴は顔を見るのも目が穢れる、歸れ〳〵』

助一はぴしやりと鎖めた表戸の中から叫んだ

『可し、覺えてろ』栄之助は立ちあがりながら云つた

『まるで鬼ですなあ』

内で斯う云ふ者があつた

『鬼にもまだ慈悲がありますよ』と他の一人は嘲んで吐き出すやうに『まあ、悪魔ですね』

『二十圓の證文を二千圓に書き直して、三百圓の利息を取らうなんて、随分太い事をするぢやありませんか。可愛さうに、彦兵衛さんの御病氣はあの一言をお聞きなすつたときからずツと悪くなりました、あいつは彦兵衛さんの敵です』

『兄さん、敵を取つて下さい、お父さんの仇を取つて下さい』

大にはお花が歔欷の間から云つた

栄之助は衣服と羽織についた砂を振り拂つて、暫く門口に立つて居たが

『お、仇が打てるなら打つて見ろ、こちらには首切り刀を持つて居るぞ、下手に手を出すと、葬式も營きないやうな目に遭はせて遣るぞ』と怒鳴つた

『おのれまだ居るのか』

助一は大喝して、一たん上つた框から飛降りやうとすると、栄之助は慌てふためいて逃げ出した、跡には欲の目ほどに光る灯が、逆さに立てた屏風の影に照つて居た

助一の家は暗い雲に鎖された、拙く寢ては居たけれど、一日二日はまだそのまゝで居られさうに見ゑたのに、突然栄之助が來たのは、全く栄之助の無法な要求が、病人の生氣を縮めたのであつた、栄之助さへ來なければ、昨日今日にこんな悲しみを見るのではなかつたものを、と、助一は足ずりをして悔みもした悲みもした

然し、今さら云つても還らぬことであるから、泣く〳〵葬式の用意に掛つて、今日の午後三時出棺と決めた處へ、栄之助が依頼を受けた執達吏が乘り込んで、あらゆる物品へ封み付けた、流石に棺桶へは手をつけなかつたけれど、お花の着物から助一の紋付、野邊の送りには無くてならぬ物にまで、ペタ〳〵紙を貼つて終つた

『随分拙いことを爲さるんですね、この紋付と袴とが無くつて、棺を送ることが出來ますか、外の物は兎も角こればかりは解いて下さい』

助一は怒りを抑へて斯う云つたが、執達吏は一所に來た栄之助の手代を見返つて

『わしは何方でも可いから、債權者に猶豫をお頼みなさい』と云つた

『お前さん』と助一は忌々しさうに『御覧の通り葬式が出かゝつて居ます、それに衣裳を抑へられて堪るものですか、せめてこれだけ解いて下さい、頼みます』

『お氣の毒だがさうはなりませんよ、紋付でないと葬式は立たない理由はないでせう、そのまゝで御送りなさい、身體だけは差押へてありません』

『なにッ、葬式』

『もし、解いて貰ひたければ、三千圓の金をお持ちなさい』と云ひ切つて『や、お邪魔しました、左様なら』

憎さげに云ひ捨て出て行つた、居合せた者の憤慨が極度に達して

『非道い奴だなあ、まるで鬼畜生だなア』

助一は手を組んだまゝほろ〳〵と泣いて居た

讀者の領分

金剛山登山者へ、片栗、鷄卵、製木[illegible]高麗しぐれ明治町村上[illegible]菓舗へ、五十錢以上各種[illegible]

[illegible]是非御願ひ致ます[illegible]（何野生）

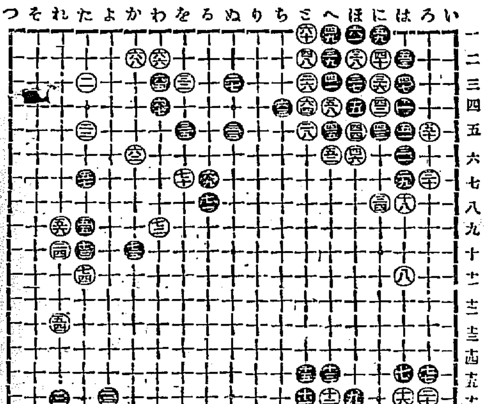
[illegible]ありまして或る洋品店へまいりました、其處の店員さんの横柄な事は[illegible]んさうに私はいなかものあつかひにされました、いくら風采が悪くてもあんなにされては又と買物に行く氣がいたしません、もう少し親切にしていたゞきたいものだつても親切[illegible]いにして下されば[illegible]と存じて居ります（府内紙の小さい女）▲『府内官吏の深山』の匿名にて世の不都合な事について寄せられた投書は文字と假名の不分明からよく判讀出來ませぬから更に半紙の様な紙に書き直して送つて下さい（係）▲伊藤[illegible]様にローマ字ひろめ會は東京市麹町區有樂町一丁目三番地（高橋生）▲京城府内に時計を所持する者しせざる者し、殆んど正午號砲で確知しますが夜間は知ることが出來ませぬ午後八時一秒時さへ云はずす閑時電氣合圖を以て報せられなば公益甚大ならむと信じます（府内時計無者）▲ぽつ〳〵避暑の時節になりました私は最後の休暇を最も有意義に利用して象牙の塔にて能り研究を續けたいと思ひますが圖書館のないので失望して居ます、いつぞや滿鐵所有の圖書を公開するとか新聞で見て心待ちに待つて居ましたが未だ公開の運びに至らないのでせうか圖書係りの御方の御答を聞き得れば幸に存じます（高商生）

内地人給仕募集
市内確實ナル保證人ヲ要ス
希望者來訪
京城日報社
庶務部

東京六華會 敗退手合（五）

背作 棋客 田岡秀子（二段）
先五番 蒲生紫治（初段）
田岡氏（二回勝三回目）

六一	ほ一
六二	か六
六三	ち四
六四	さ四
六五	わ三
六六	わ二
六七	わ四
六八	か二
六九	ろ七
七〇	な七
七一	ろ八
七二	わ九
七三	た十
七四	た十一
七五	か十



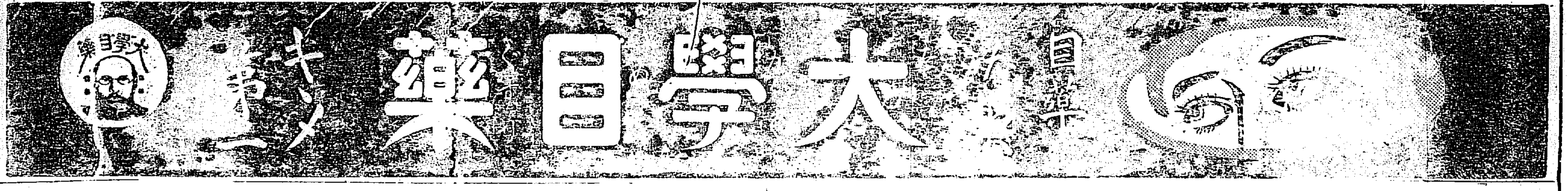
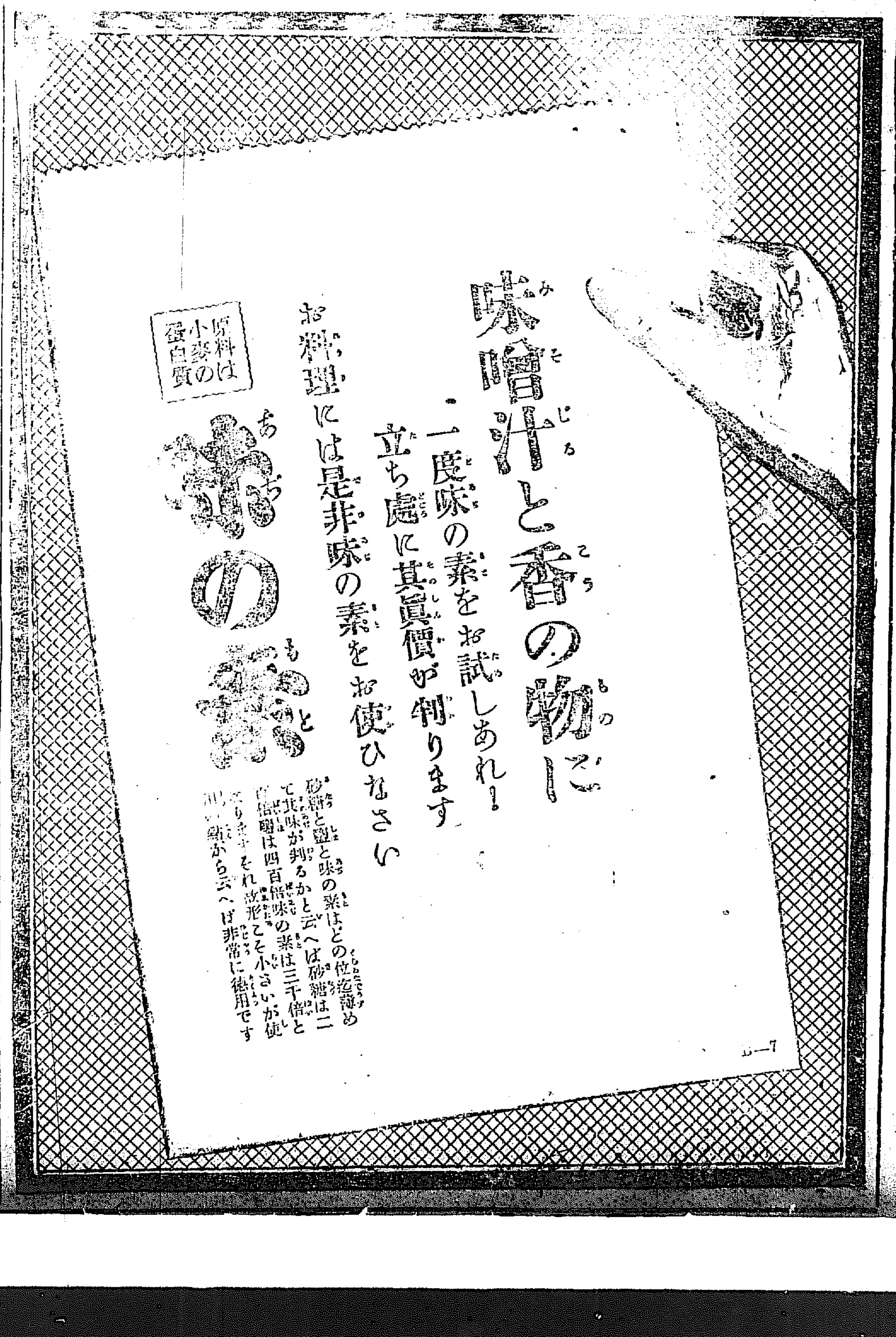
皮膚科 外科 專門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二二五八番

眼科 内科 京城壽町三丁目九十一番地（遊座隣り） 入院隨意 電話一二二六七番 荻原眼科内科醫院 荻原長藏

▲開業▲ 松 丸太 角 挽材 新 製材品一切 材木
右今般忠南禮山郡加耶山所在の一千余町歩の大松林を買受製材業開始仕候に就ては楕々御便利を計り廉價を以て商談に應じ可申候間何卒多少に不拘御用命仰付被下度奉願上候
追つて受付中に付完備の上は松板類一切の御需用に應じ可申候
製材業 ㊄ 丸西商會 忠南禮山郡德山
忠南禮山 西村市太郎
出張所 仁川府本町四丁目 田中五郎吉 電話四一六番

懐中要薬 清心丹 東京日本橋 大阪元町 高木與兵衛
氣分を爽にし 舟車の不快、過酒食、嘔吐、下痢、時候アタリの豫防に 食後常用せば消化を進め胃腸を健全に保ち、惡疫豫防の効あり

内科 胃腸病科 石川醫院

◎新荷着◎ 生番パインアップル R二磅入 C一磅半入 二種
右新荷多數入荷仕候間御用命願上候
釜山本町三丁目 本嘉納商店

煉瓦 瓦 土管 製造元 朝鮮大田春日町二丁目 安井工場